津市環境基本計画

令和３年度　年次報告書

（環境白書）

令和４年７月

津 市

目　次

めざす環境像に向けた施策の展開（第４章）
《環境目標１》「自然と調和した恵み豊かな環境」の取組
⑴　自然環境の保全
○　山と川と海のネットワークの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
○　生物多様性の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
○　里地・里山・里海の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
⑵　公益的機能の維持増進
○　森林環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
○　農地環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

《環境目標２》「資源が循環する社会環境」の取組
⑴　資源循環の推進
○　３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進・・・・・・・・・１３
○　ごみの適正分別と収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
○　不法投棄の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３
○　廃棄物の適正処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
⑵　新エネルギーの適正な普及
○　新エネルギーの利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
○　温室効果ガスの削減対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
○　省エネルギー対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

《環境目標３》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組
⑴　衛生的な生活環境の保全
○　空き地・空き家等の適正管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
○　愛護動物の適正飼養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
○　公害の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
○　生活排水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
○　市営墓地の適正管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
⑵　やすらぎを感じる生活空間の形成
○　緑の保全・創出と水辺環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
○　良好な景観の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
○　歴史文化環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

計画の実現に向けて（第５章）
１　市民の環境意識の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
２　協働による環境活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
３　環境への負荷の少ない事業活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９

資料編

津市環境基本計画の施策体系

めざす環境像	環境目標	取り組む施策	
豊かな自然とともに歩み、より暮らしやすい環境を創造するまち　津	《環境目標１》 自然と調和した 恵み豊かな環境 （良好な自然の 保全と継承）	自然環境の保全	・山と川と海のネットワークの推進 ・生物多様性の保全 ・里地・里山・里海の保全
		公益的機能の維持増進	・森林環境の保全 ・農地環境の保全
	《環境目標２》 資源が循環する 社会環境 （循環型社会形成 の推進）	資源循環の推進	・３R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進 ・ごみの適正分別と収集 ・不法投棄の防止 ・廃棄物の適正処理
		新エネルギーの適正な普及	・新エネルギーの利用促進 ・温室効果ガスの削減対策の推進 ・省エネルギー対策の推進
	《環境目標３》 快適で暮らし やすい生活環境 （生活環境の向上）	衛生的な生活環境の保全	・空き地・空き家等の適正管理 ・愛護動物の適正飼養 ・公害の防止 ・生活排水対策 ・市営墓地の適正管理
		やすらぎを感じる生活空間の形成	・緑の保全・創出と水辺環境の保全 ・良好な景観の保全 ・歴史文化環境の保全

計画の各施策における令和３年度の取組結果

１　《環境目標１》「自然と調和した恵み豊かな環境」の取組結果

⑴　自然環境の保全

《山と川と海のネットワークの推進》

ア　市民、ボランティア、ＮＰＯ、事業者、行政機関などのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を促進し、森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の保全に取り組みます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　環境保全活動団体等との連携　　資料編Ｐ１

山から海までの自然環境の保全と各地域の住民とのネットワークづくりのため、新雲出川物語推進委員会を主体として雲出川流域を中心に事業を実施しました。

また、「リバーパーク真見エコウォーク」では、世界かんがい施設遺産に登録された南家城川口井水周辺を清掃しながら歩き、地域の文化的遺産にも触れる機会となりました。

【令和３年度実績】

事　業　名	参加者数
リバーパーク真見エコウォーク	114 人
環境基礎講座（全５回）	24 人

②　津市エコサークル事業の実施

令和元年度から始まったボランティア活動をしている団体や個人が交流できる津市エコサークル事業をさらに発展させ、各団体の活動を発表する場として「津市エコサークル活動報告会」を開催しました。

【令和３年度実績】

名称	実施場所	開催日	参加者数
津市エコサークル活動報告会	津市環境学習センター	令和 4 年 2 月 27 日	10 人

【評価・課題】

例年多くの参加がある香良洲海岸での清掃活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により三重県まん延防止等重点措置が発令されたことに伴い、中止となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、イベントの内容を変更しての開催するなど、感染対策を講じた上での開催について検討する必要があります。

リバーパーク真見エコウォークについては、感染症予防措置のもと、川の清掃をしながら、山の紅葉や世界かんがい施設遺産に触れることができ、豊かな自然を体感できる機会となりました。

津市エコサークル事業については、たくさんの人の目に留まり、ボランティアに関わる人が増えるような取組にしていく必要があります。そのために、エコサークルをどのように活用していくのか、あり方の検討が必要です。

【今後の取組】

山・川・海のネットワークを推進するため、雲出川流域の自然環境の良さを情報発信するとともに、市内で活動する様々な団体等とのネットワークによる事業を継続していきます。

本市は青山高原をはじめとする山々、雲出川などの多くの河川、南北に延びる海岸線など豊かな自然環境に恵まれていることから、これらの豊かな自然を活かし、環境教育・環境学習に取り組みます。

また、津市エコサークル事業については、ボランティア同士の交流を促す場となるよう、津市エコサークル活動報告会を継続していくとともに、市ホームページを通じて情報発信を行うなど、ボランティア活動に関心をもってもらうための情報を提供していきます。

《生物多様性の保全》

ア　開発行為を計画する際には、地勢、流域、生態系などそれぞれの地域特性を踏まえ、自然環境に配慮するよう指導していきます。
イ　従来の生態系を守るため、外来動植物の適正管理の必要性を啓発していきます。
ウ　野生動物の生息数の増加・減少について、市民や関係団体と連携し、情報収集に努めるとともに地域ぐるみの取組を促進します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　開発行為者への助言、指導等（環境アセスメント制度に基づく開発行為への意見出）

令和３年度においては、環境アセスメント制度に基づく環境の保全の見地からの意見を述べる機会はありませんでした。

イ）

①　三重県等との連携による情報収集・共有・啓発（外来種別、生息数等）

三重県と連携し情報共有を行い、４月１６日発行の広報津により特定外来生物に関する啓発を行いました。

また、市民から外来生物法で特定外来生物に指定されているオオキンケイギクに関する情報提供があり、繁殖場所の土地所有者等へ外来生物被害予防３原則についての啓発を行いました。

【令和３年度啓発内容】

啓発内容	
テーマ	特定外来生物にご注意を！
特定外来生物の例	ブルーギル、ブラックバス、アライグマ、カミツキガメ、セアカゴケグモ、オオキンケイギクなど
外来生物被害予防３原則	①入れない：悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本へ入れない ②捨てない：飼っている外来生物を野外に捨てない ③広げない：すでに野外にいる外来生物を他地域へ広げない

ウ）

①　三重県等との連携による情報収集・共有・啓発（希少種別、生息数等）

三重県から本市に、三重県自然環境保全条例に基づく指定希少野生動植物種捕獲等届出書の写しの送付と捕獲した希少野生動植物種に係る情報の提供がありました。

②　市民活動団体等の活動紹介

市民活動団体等の活動を後援し、野生生物等の生息地の保全に努めました。

【令和３年度実績】

市民活動団体等	活動内容	本市の取組み
ウミガメネットワーク	⑴津市の海岸での清掃活動推進事業 ⑵ウミガメの卵の保護活動等	・イベント開催チラシへの後援名義使用許可 ・広報紙（7月1日号）での紹介
白塚の浜を愛する会	⑴ハマヒルガオ再生プロジェクトin阿漕浦海岸 ⑵ハマヒルガオ再生プロジェクトin白塚海岸 ⑶バッタ調査会及び海浜性昆虫観察会	・イベント開催チラシへの後援名義使用許可 ・広報紙（10月1日号）での紹介

【評価・課題】

外来生物に関する相談対応、特定外来生物に関する啓発等を行い、従来の生態系の保全に努めました。

また、市民活動団体等の活動を後援し、自然環境の保全に寄与しました。

【今後の取組】

生物多様性の保全を推進するため、今後も三重県等との連携による情報共有を図るとともに啓発活動を行い、従来の生態系の保全に努めます。

また、開発行為に対しては、環境に配慮するように環境アセスメント制度に基づく指導を行います。

《里地・里山・里海の保全》

ア　里地・里山は、木材など自然資源の供給、身近な自然とのふれあいの場、そして、様々な動植物の生息・生育場所などとして様々な恵みをもたらす大切な財産であることを情報発信し、理解を深めることにより、里地・里山が保全される仕組みづくりに努めます。

イ　本市の美しい海岸、自然の動植物の宝庫である里海について、情報発信を行い、豊かな海辺環境の保全に努めます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　自然学習イベント事業（水生生物調査学習会等）　資料編Ｐ３

自然環境・生活環境を保全していくためには、一人ひとりが環境への理解を深めることが大切なため、身近な場所での環境教育を推進し、市民の環境意識の向上を目指すため、小学生等を対象に水生生物調査学習会等を実施しました。

【令和３年度実績】

名称	実施場所	開催日	参加者数
ホタル観察会	片田薬王寺町地内	令和3年6月5日	30人
環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和3年6月20日	43人
水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	令和3年8月1日	28人
親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和3年8月8日	14人
野鳥観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和3年11月27日	11人
自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	令和4年3月13日	10人

②　自然ガイドブックによる啓発

市内の多様な自然を身近に親しんでもらうため、「つし自然ガイドブック」を活用した自然観察会を実施しました。また、市ホームページで「つし自然ガイドブック」を紹介し、津市の豊かな自然や多様な動植物等について情報発信しました。

イ）

①　自然学習イベント事業　資料編Ｐ３

里海に親しむイベント事業として「田中川干潟生き物観察会」を実施しました。

【令和３年度実績】

名称	実施場所	開催日	参加者数
田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	令和 3 年 7 月 25 日	23 人
白塚海岸の清掃と作品作り	白塚海岸	令和 3 年 7 月 31 日	21 人

② 自然ガイドブックによる啓発

市ホームページで「つし自然ガイドブック」を紹介し、津市の海岸や砂浜の多様な動植物等の情報を発信しました。

【評価・課題】

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、令和２年度は中止したイベント（ホタル観察会及び環境月間記念植樹）を含め、予定していた自然学習イベントを実施することができました。

また、実施したイベントでは、参加者から講師への活発な質問が見られるなど、イベントを通じた環境意識の醸成に貢献できました。

なお、実施したイベントによっては、新型コロナウイルス感染症対策として身体的距離を確保したことで、講師から遠くにいる参加者には話が聞き取りにくいといった場面があったことから、感染症対策を図りながらのイベント実施に工夫が必要です。

田中川干潟生き物観察会では、田中川を通して干潟にはどんな生き物がいるのか、干潟の環境を整えるとどんな生き物が増えるのかを学び、同じく環境意識の醸成に寄与することができました。

【今後の取組】

里地・里山が大切な財産であることを情報発信し、環境保全に対する意識の向上に向けた自然学習イベント事業等を通じて、市民に津市の自然や環境保全に対する意識の向上に努めていきます。

また、市内の動植物の宝庫である里海についても、情報発信を続け、環境学習会等を実施し、自然の大切さを知る機会を提供していきます。

⑵　公益的機能の維持増進

《森林環境の保全》

ア　水源かん養機能を向上し、良好な水道水を確保・提供するため、森林の保護、整備を進めるとともに、取水した原水においては定期的な水質監視を行います。

イ　効率的な森林施業を図り、森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。また、水源かん養、保水性、山地防災、二酸化炭素の吸収・酸素の発生など森林の持つ大切な機能について情報発信します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　津市水道水源保護条例に基づく、水源の保護

津市水道水源保護条例に基づき、水道に係る水質の汚濁を防止し清浄な水を確保するため、その水源の保護に努めました。本年度は、水源地域での水源保護条例の規定に関わる事例はありませんでした。

②　定期的な水質検査業務の継続

水質検査計画に基づき水源から各浄水場に取水する原水の水質検査を毎月（年１２回）定期的に行い、安定して良好な水道水の提供が可能な水質であることを確認しました。

【令和３年度実績】

地域	浄水場 及び 水質検査箇所数 ※( )内は、取水箇所数
津	片田浄水場(1)、高茶屋浄水場(1)、三雲浄水場(1)
久居	別所浄水場(1)、金剛峰浄水場(1)
河芸	千里ヶ丘第 2 浄水場(1)、西部浄水場(1)、上野第 2 浄水場(1)、豊津浄水場(4)
安濃	安濃中央浄水場(1)、妙法寺浄水場(2)、安濃浄水場(1)
芸濃	北神山浄水場(1)
美里	高座原浄水場(1)、穴倉浄水場(1)、中野高宮浄水場 (1)、平木浄水場 (1)
美杉	下之川浄水場(1)、下多気浄水場(1)、小西浄水場(1)、須渕浄水場(1)、上八知浄水場(1)、下竹原浄水場(1)、奥津浄水場(1)、川上浄水場(1)、上太郎生浄水場(1)、中太郎生東浄水場(1)、中太郎生西浄水場(1)、下太郎生浄水場(1)、伊勢地浄水場(1)

イ）

①　強い森林づくり促進事業、森林環境創造事業の継続　　資料編Ｐ６

強い森林づくり促進事業として、間伐等の森林整備を実施する林業事業体を支援しました。津市内の森林において間伐 247.43ha、作業道 11,534m、植栽 9.63ha を支援しました。

森林環境創造事業として、榊原町地内の環境林において 22.42ha の間伐を実施しました。

②　森林環境譲与税の活用

資料編Ｐ７

令和３年度は森林環境譲与税を活用し、森林経営管理事業として一志地域及び白山地域の一部の森林約 5,130ha を対象に森林所有者の意向調査を実施しました。

また、令和元年度に芸濃地域で実施した意向調査において、安濃ダム上流で市への経営委託を希望する森林が多かった箇所を対象に 100.58ha の境界明確化を実施しました。また、平成２５年度に東海農政局が安濃ダム周辺を対象として実施した航空レーザ測量のデータを使用して、約 2,700ha の森林資源解析を実施しました。

森林整備としまして、美杉町太郎生地内の整備が遅れている市有林において 30.80ha、芸濃町河内地内で経営管理権集積計画を策定した森林の内 23.08ha の間伐を実施しました。

【令和３年度実績】

森林経営管理事業業務委託		
意向調査	区域面積	5,130ha
	筆数	20,204 筆
	所有者数	4,601 人
境界明確化	境界明確化	100.58ha
	林地台帳修正	456ha
森林資源解析	芸濃地域	27 ㎢
森林整備	美杉町太郎生地内	30.80ha
	芸濃町河内地内	23.08ha

③　みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した体験学習等（夏休み森と緑の親子塾、まるごと林業体験）の継続　資料編Ｐ８

夏休み森と緑の親子塾では、木工体験及び丸太切り体験を実施し、木の薫りやぬくもりを肌で感じてもらうことができました。

また、まるごと林業体験では、間伐体験、ポータブルウインチを使用した集材体験及び木工体験を実施し、森林整備の一部を体験してもらうことができました。

【令和３年度みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組実績】

配分	対策区分	事業名	内容	事業費（交付金額）（千円）
基本枠	暮らしに身近な森林づくり	林地残材搬出促進事業	間伐で発生した林地残材をエネルギー利用するため搬出・運搬経費の一部を支援 4,995 ㎥（6,244ｔ）	28,615 (28,595)
	森を育む人づくり	夏休み森と緑の親子塾	木工体験及び丸太切り体験 開催回数１回　14 名	184 (184)
		まるごと林業体験	間伐体験、ポータブルウインチを使用した集材体験及び木工体験 開催回数１回　9 名	297 (297)
		美里水源の森「林業体験」事業	シイタケ菌打ちと薪割り体験 開催回数１回　26 名	250 (250)
連携枠	土砂や流木による被害を出さない森林づくり	流域防災機能強化対策事業	環境林・特定水源地域における間伐 美里町平木、美杉町下之川地内　79.67ha	41,015 (41,000)
		森林再生力強化対策事業	新植地等への獣害防止施設の整備に係る支援　5,527m	4,551 (4,551)
防災枠（基本枠）	暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業	ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採（防災枠 1/4、基本枠 1/4、ライフライン事業者 1/2） 1 箇所、535 本伐採	11,379 (5,690)
			合　計	86,291 (80,567)

【評価・課題】

強い森林づくり促進事業や森林環境創造事業により間伐等を促進して森林の持つ多面的機能の発揮を促すことができました。

さらに、森林教育を実施することにより、森林の機能や林業に興味・関心を高めることができ、市民が一体となって森づくりをしていく意識づけを行うことができました。

森林経営管理事業として、一志地域及び白山地域の一部で意向調査、芸濃地域で森林資源解析、森林境界の明確化、芸濃地域及び美杉地域で間伐を実施し、未整備森林の解消に向けて事業を推進しました。

【今後の取組】

森林の保全に関わる既存事業を継続的に進めることで、今後も森林の持つ多面的機能の発揮を図っていくとともに、森林経営管理事業として継続的に意向調査、森林現況調査、境界の明確化を実施し、管理がなされていない森林を森林所有者の代わりに市が管理することにより、未整備森林の解消を図っていきます。

《農地環境の保全》

ア　新規就農者・担い手の育成・確保による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行い、農地集積・集約化等による農地利用の適正化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養のための取組を推進します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　市民農業塾、農林水産まつりの開催　　資料編Ｐ１０

就農希望者や農業に興味のある人を対象に市民農業塾を開催し、農作物の栽培管理や基礎的栽培技術、農業知識を学びました。

【令和３年度実績】

事業名等	開催日等	参加者等
市民農業塾	隔週土曜日　年間 25 回	12 人
農林水産まつり	（予定）令和 3 年 11 月 3 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

②　農林業就業促進対策事業、農林次世代人材投資資金事業の活用

新規就農者等が新たに農業経営を開始する場合など最大で年間１５０万円を給付する制度である農業次世代人材投資資金を活用し、対象者に給付金を交付しました。

【令和３年度実績】

事業名	対象者数	補助等金額
農業次世代人材投資資金事業	継続認定新規農業者 11 人	12,493,581 円

③　集落営農促進対策事業の活用

【令和３年度実績】

事業名	内容等	対象者等	補助等金額
集落営農促進対策事業	集落営農組織が更新導入する農業用共同利用機械等の購入補助	10 組織	16,232,000 円

④　中間管理事業の継続

農用地の集積・集約化を促進し、経営規模の拡大による農業所得の向上等農業競争力の強化とともに耕作放棄地の解消を図るため、中間管理事業を実施しました。

【令和３年度交付実績】

名　　称	内　　容	対象者等	交付実績額
地域集積協力金	地域の農地を一定割合以上機構へ貸付けることに対する地域への支援	4 地域	5,367,900 円
経営転換協力金	農業者が経営転換・リタイアする場合で農地を機構へ貸付けることへの支援	7 人	513,000 円

⑤　農用地流動化促進事業の継続

農用地の効率的な利用促進と安定的な農業経営者の育成目的とし、新たに賃借権を設定した担い手（借り手）に奨励金を交付する農用地流動化促進事業を活用し、延べ１１０人の担い手に奨励金を交付し、担い手への農地の集積・集約化を促進しました。

【令和３年度実績】

対象担い手	延べ 110 人
対象面積	487,000 ㎡
奨励金額	4,964,800 円

⑥　多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型直接支払交付金の活用

多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型直接支払交付金を活用し、自然環境に配慮しつつ、効率的で持続可能な農業生産活動の促進を図りました。

【令和３年度交付実績】

名　　称	内　　容	交付実績数	交付実績額
多面的機能支払交付金	農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対する支援	117 組織	185,678,636 円
中山間地域等直接支払交付金	中山間地域等の農業生産条件に関する不利を補正するための支援	28 集落	36,417,443 円
環境保全型直接支払交付金	自然環境の保全につながる農業生産方式を導入した農業者団体等に対する支援	4 事業者	3,095,700 円

【評価・課題】

令和３年度の市民農業塾では、農作物の栽培や農業の基礎知識等に関して、若年層を中心とした市民の積極的な参加が見受けられ、過去に参加した塾生の中から、独立し就農している方が誕生しました。

また、農業経営者の高齢化が進む中、農地の耕作放棄地化の抑制及び担い手に対する農地の面的集積の取組を支援し、効率かつ安定的な農業経営者の育成に取り組むことができましたが、今後はさらなる集積を進めていくことが求められています。

【今後の取組】

津市産農林水産物の魅力発信に加え、生産者と事業者・一般消費者とのマッチング等更なる消費拡大に向けた「地産地消」および「地産他消」を推進します。

農地中間管理事業等による担い手等への農地集積・集約を促進するため、市、県、農地中間管理機構、ＪＡに加え、農地利用最適化推進委員等農業委員会など関係機関が連携し、農地集積率の向上を図ります。

さらに農林業就業促進対策事業など国、県等の様々な支援事業を継続して活用し、新規就農者・担い手の育成、農地集積・集約化による農業経営基盤の安定化を進め、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養に努めていきます。

２　《環境目標２》「資源が循環する社会環境」の取組結果

⑴　資源循環の推進

《３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進》

ア　可燃ごみ減量化のため、生ごみの水切りを啓発するとともに、生ごみのたい肥化や紙ごみの資源化を徹底するなど、可燃ごみの資源化を進めます。
イ　刈草、木の葉などは、たい肥化するなど、燃やせるごみとして処分しない方法を奨励します。
ウ　食品類を始め、日用品等の過剰な購入を控えたり、マイバッグの利用を徹底するなど、ごみの出ない生活スタイルの実践を啓発します。
エ　事業系の一般廃棄物の排出量を減らすため、事業者による減量化計画の策定及び計画の実行について事業者の協力を求めます。
オ　リユース情報掲示板による情報交換を充実し、まだ使える物がごみとして排出されない仕組みづくりに努めます。
カ　エコ・ステーションは民間事業者の店頭回収とのバランスを考慮しながら、市民がより利用しやすい環境を整えます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　生ごみの水切り・たい肥化の促進

・水切りモニターアンケートの実施

参加協力していただける自治会を確保できず、実施には至りませんでした。

・生ごみ処理機等購入補助金交付事業の継続（市補助事業のＰＲ）　資料編Ｐ２２

生ごみ処理機等購入補助金交付事業を継続実施することで、生ごみ処理機・コンポストの普及を促進し、生ごみの減量・減容化を図りました。

また、当補助金事業について、環境だよりでＰＲするとともに、生ごみ処理機・コンポストの販売店舗を訪問し、当補助制度の啓発チラシを店頭に置いてもらうことで、より多くの市民が生ごみ処理機を利用し、ごみ減量・減容化に取り組んでもらうよう啓発しました。

令和３年度より、津市生ごみ処理機貸与事業を開始しました。家庭用生ごみ処理機を実際に使用し、その効果を体験することで、家庭用生ごみ処理機の普及・促進ができました。

【令和３年度補助金交付実績】

種類	基数	交付金額
生ごみ処理機	116 基	2,211,700 円
コンポスト容器	66 基	150,100 円
合計	182 基	2,361,800 円

【令和３年度生ごみ処理機貸与実績】　36 人

・料理教室等でのPR（食生活改善推進員の料理教室、公民館講座など）

津市食生活改善推進協議会に働きかけを実施するも新型コロナウイルス感染症のまん延状況等から料理教室、公民館講座の開催が見送られ、実施には至りませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、生ごみの水切り・たい肥化に関するＰＲ方法の検討が課題です。

・くるりんフード事業の継続　資料編Ｐ１９

小学校の給食残さをたい肥化する仕組みを小学生に学んでもらい、ごみではなく資源として循環させることに関心を持ってもらうため、市内の小学校でくるりんフード事業に取り組みました。

小学生には実際の工場を見学してもらうことにより、学校給食で食べ残したもの（ごみ）が最終的には肥料になる過程を見てもらい、ごみの減量・リサイクルについて学んでもらいました。

【令和３年度実績】

小学校数	収集量	納入堆肥
8 校	9,259 kg	2,722 kg

② 紙ごみの資源分別の促進

・くるりんペーパー事業の継続　資料編Ｐ２０

小学生に紙ごみのリサイクルに関心を持ってもらうため、小学校４９校及び公共施設１３ヵ所で分別排出されたお菓子や食料品等の空箱（紙製容器包装）を収集し、リサイクルしたトイレットペーパーを各小学校等へ配布しました。

お菓子の空箱等を燃やせるごみとして出すのではなく、それらをリサイクルしたトイレットペーパーを小学校で使用することにより、小学生の環境に対する意識の向上を図りました。

【令和３年度実績】

箇所数	収集量	トイレットペーパー納入数
62 箇所	38,450 kg	51,000 個

・雑紙の資源回収率の向上に向けたモデル地区での試行検証

細かな雑紙収集に関する試行検証の実施には至りませんでした。

試行検証に向けて、受け入れ先となる古紙取扱業者と細かな雑紙を紙袋に入れて排出する方法について協議しましたが、異物混入の可能性が否定できないため、実現には

至りませんでした。

③　容器包装プラスチックの資源分別の促進（排出方法等の啓発）

容器包装プラスチックは資源物として排出されるようごみ分別ガイドブック、ごみ分別アプリ「さんあーる」などでＰＲするとともに、市民からのごみ分別に関する問合せのなかで、容器包装プラスチックは出来る限りきれいに洗い、資源物として排出されるよう啓発しました。

④　リサイクル資源回収活動報奨金交付事業の継続　　資料編Ｐ２０

自治会やこども会等の団体が、古紙等の資源回収を通じてリサイクルに対する意識を高めるとともに、古紙や空き缶、古着等の再資源化を促進するため、各団体が実施する資源ごみの回収活動に対して、津市リサイクル資源活動報奨金交付要綱に基づき報奨金を交付し、各団体の資源ごみの回収活動を奨励しました。

なお、新型コロナウイルス感染症のまん延状況等から令和２年度の実施団体から２５団体減少し、回収量も７７ｔ減少しました。

【令和３年度実績】

団体数	回収量	報奨金交付金額
201	1,630t	9,777,242 円

イ）

①　広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だよりにて、たい肥化の一環として、生ごみ処理機等補助金活用を啓発しました。

【令和３年度実績】

発行日（環境だより）	内容
令和 3 年 6 月 1 日	生ごみ処理機などの購入費用補助
令和 4 年 3 月 16 日	生ごみ処理機などの購入費用補助

ウ）

①　レジ袋有料化への取組の継続　　資料編Ｐ１９

令和３年度レジ袋辞退率は 87.12%と高位を維持していますが、令和２年７月により容器包装リサイクル法の改正省令が施行され、全国的にレジ袋有料配布が義務化されたことから、一部の協定締結事業者より協定の継続についての疑問の意見が挙げられました。辞退率の報告を月ごとに市に報告することが事業者にとって負担となっていることや、県内全ての市町村において同様の協定を破棄していることも鑑み、同様に協定の破棄も検討しましたが、令和４年度から実施する地域脱炭素推進事業への協力依頼を行うことも考えられることから、令和３年度末にてレジ袋辞退率報告の義務を解消するに留め、レジ袋削減に対する協力体制は継続することとしました。

②　広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

市ホームページにおいてはレジ袋有料化についての啓発を行っていますが、令和３年度については、イベント等が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったことから、

十分な啓発は行うことができませんでした。

食品ロス削減の意識づけのため、啓発素材を市役所食堂に設置しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により飲食店への啓発依頼ができませんでした。

エ）

① 事業系一般廃棄物減量化計画事業の継続 資料編Ｐ１８

・大規模事業所による減量化計画策定依頼・助言・指導

大規模事業所に対し、事業系一般廃棄物減量化計画書の提出を促し、各事業所において廃棄物の減量化に取り組むよう啓発しました。

大規模事業所で実施している優良な取組を市ホームページにて紹介しました。

・事業系ごみの分別ガイドブックによる啓発

事業系ごみの分別ガイドブックのレイアウトを見直し中で、ガイドブックによる啓発には至りませんでした。

なお、事業所からのごみに関する問合せに対し、市ホームページの案内や減量化に関する啓発を行いました。

・商工会議所等との連携による啓発

商工会議所と連携し、事業所に対する講習会の実施やチラシ等の配布を検討していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による事業所の経営状態を考慮して、廃棄物の減量化に関する協力依頼を見送りました。

オ）

① 広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だより、市ホームページにて、リユース掲示板について情報発信し、利用促進を図りました。

【令和３年度実績】

利用区分	申込件数	譲渡成立件数
譲ります	32 件	9 件
譲ってください	4 件	1 件

② 大型家具等ごみ出し支援で収集した家具等の再活用

大型家具等ごみ出し支援事業で収集した家具等の中で、再活用が可能なものを、津市リサイクルセンター内にある環境学習センターに展示し、再利用目的の方に無料で引き渡していますが、令和３年度は、再利用できるような大型家具等の収集依頼がなかったため、展示しませんでした。

なお、平成３０年度は３点の家具（タンスなど)、令和元年度はタンス１点、令和２年度は棚１点が再利用を目的に引き取りされました。

③ リユース講習会の継続

リサイクルに対する意識向上を図るため、環境学習センターにおいて、不用となった

(1)　資源循環の推進

古着などを活用して、ぞうりやバッグなどの新たなものをつくる講習会等を開催しました。

【令和３年度実績】

講座名	回数	参加者数
布ぞうり講習会	3 回（他 3 回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）	28 人
エコバッグ講習会	2 回	19 人
夏用マスク講習会	2 回	17 人
チュニック講習会	6 回	45 人
段ボールで写真立てを作る	（予定）2 回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
巾着袋講習会	（予定）2 回	
冬用マスク講習会	2 回	16 人
さるぼぼ吊り下げ講習会	2 回	16 人

カ）

①　民間エコ・ステーションの利用促進

・民間エコ・ステーションとの連携

資源ごみの回収を実施している民間の事業者等から、民間エコ・ステーションの設置に伴う課題を聴取し、市エコ・ステーションとの連携に向けた意向調査等の依頼を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大による事業所の経営状態を考慮して、実施しませんでした。

・民間エコ・ステーションの収集量等の調査把握

資源ごみの回収を実施している民間の事業者等に対してアンケート調査を行い、資源ごみの回収状況等を調査確認しました。

・市管理のエコ・ステーション　資料編Ｐ２１

市内６ヶ所のエコ・ステーションにおいて、資源物の回収を行いました。

【市管理のエコ・ステーション一覧】

名称	搬入できる日時	搬入品目
明神リサイクルストックヤード	毎週水・土・日曜日 8:30～16:30 ※12 月 29 日～1 月 3 日除く	容器包装プラスチック、びん、その他プラスチック ＋①の品目
芸濃エコ・ステーション	毎週水・日曜日、12 月 29 日・30 日 9:00～16:30 12 月 30 日は 12:00 まで ※12 月 31 日～1 月 3 日除く	金属（50ｃｍ角以内のもの）、自転車、危険ごみ ＋①の品目

一志とことめエコ・ステーション	毎週土・日曜日、12 月 29 日 9:00～16:30 12 月 30 日は 12:00 まで ※12 月 31 日～1 月 3 日除く	金属（50ｃｍ角以内のもの）、自転車、危険ごみ ＋①の品目
西部クリーンセンター	毎週月～金・日曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※祝・休日除く ※12 月 31 日～1 月 3 日除く	①の品目は以下のとおり 新聞、雑誌、ダンボール、飲料用紙パック、衣類、・布類、ペットボトル、小型電子機器
河芸エコ・ステーション	毎週火・木・土・日曜日 12 月 29 日・30 日 8:30～16:30 12 月 30 日は 12:00 まで ※12 月 31 日～1 月 3 日除く	
香良洲エコ・ステーション	毎週月・火・木～日曜日 12 月 29 日・30 日 7:30～12:00 13:30～16:45 12 月 30 日は 12:00 まで ※12 月 31 日～1 月 3 日除く	金属＋①の品目

(1) 資源循環の推進

【令和３年度市管理のエコ・ステーション回収実績】　　（単位：ｋｇ）

	新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	衣類・布類	ペットボトル	金属	危険ごみ	蛍光管	乾電池	びん	容器プラ	その他プラ
明神	53,990	94,210	66,080	1,260	76,320	15,630	－	－	－	－	38,070	31,680	75,430
芸濃	2,770	7,840	6,600	70	8,830	690	16,360	220	250	370	－	－	－
一志	5,730	12,770	9,450	0	14,700	960	31,560	330	490	430	－	－	－
西部	3,180	24,960	8,950	40	21,340	410	－	－	－	－	－	－	－
河芸	7,050	15,030	10,310	90	17,150	670	－	－	－	－	－	－	－
香良洲	32,860	31,520	39,220	0	35,100	15,220	79,480	730	1,020	1,870	27,990	－	32,920
全体	105,580	186,330	140,610	1,460	173,440	33,580	127,400	1,280	1,760	2,670	66,060	31,680	108,350

② エコ・ステーションの利用促進

・施設活用による集団回収の促進

新型コロナウイルスの感染拡大により、人が集まる行事の実施を見送ったため、実施には至りませんでした。

【評価・課題】

令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まるイベントが減少し、啓発活動の機会は減ったものの、令和３年度の 1 人 1 日当たりのごみの排出量は 998g で、前年度の 1,018g に比べ、20g 減量となりました。水切りモニターアンケートに協力してもらいやすくするための仕組みづくりや、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、講座などで啓発ができない場合のＰＲ方法について検討する必要があります。

ごみのリサイクル率は 22.1%で、前年度の 22.9%に比べ、0.8 ポイント下がったため、ごみの資源化に関する啓発方法を工夫し、一人一人の資源化に関する意識の徹底が必要です。

また、汚れが取り切れない容器包装プラスチックは、燃やせるごみとして排出してもらっていますが、汚れが容易に取れそうなものまで燃やせるごみとして排出されている例もあることから、引き続き、容器包装プラスチックの排出に際しては、資源物として回収量の増加を図りつつ、リサイクルに適した品質を確保できるよう適正な排出方法の啓発が必要です。

【今後の取組】

今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、出前講座や環境イベントなどの面前での啓発機会が減っても環境だよりや市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあーる」などを積極的に利用し、生ごみの水切り、たい肥化、雑紙の資源化、リユース掲示板の活用など、不用なものを排出する場合、出来るかぎり資源ごみとして排出してもらうよう啓発を継続していきます。

また、生ごみの減量・減容化については、市民から生ごみの水切りモニターを募るなどして、どの程度ごみ減量効果があるか等その効果を量りながら啓発していくとともに、生ごみ処理機等の普及促進をＰＲしていきます。

《ごみの適正分別と収集》

ア　高齢者や障がい者にも配慮した「分かりやすいごみの分別」や「やさしいごみの出し方」を研究し、負担の少ないごみの分別収集体制の充実を図ります。

イ　適正なごみの分別方法・出し方等について、環境だよりや本市の広報紙、ホームページでの啓発を継続して行うとともに、ごみダイエット塾や小学校での環境学習など様々な機会を通じて啓発します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　市民に分かりやすく負担の少ない分別・収集方法の検証

廃棄物減量等推進審議会を開催し、今後の人口減少に伴う高齢化社会において、市民に分かりやすく負担の少ないごみの分別・収集方法の検証について、協議を行いました。

②　大型家具等ごみ出し支援事業の実施　資料編Ｐ２４

平成３０年４月から大型家具等ごみ出し支援事業を開始し、大きな家具等を１ｍ程度に分解することやごみ一時集積所まで運ぶことが困難な方（「要支援認定者、要介護認定者、障がい者、７５歳以上の者」のみでお住いの世帯）を対象に、市職員が直接対象世帯宅を訪問し、無料で大型家具等を収集しました。

【令和３年度実績】

引き取り実施世帯数	引き取り家具等数
478 世帯	1,196 個

イ）

①　広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だよりやごみ分別アプリ「さんあーる」を用い、ごみの出し方や分別方法等を掲載し、ＰＲを行いました。

【令和３年度実績】

発行日（環境だより）	内容
令和 3 年 6 月 1 日	ごみ出しルールを守って正しい分別を！
令和 3 年 7 月 1 日	知っていますか？ごみの分別の意味 家電４品目の適正な処理方法 危険ごみは品目別に分けて出してください！
令和 3 年 12 月 1 日	ごみ収集車の火災事故防止にご協力を！ 知っていますか？燃やせるごみのリサイクル
令和４年３月１６日	津市で収集しないもの このごみはどうやって処理するの？ 家電４品目の処分方法

② ごみ一時集積所設置等事業補助金交付事業の継続　資料編Ｐ２６

ごみの効率的な収集を行うとともに、市民の美化意識の高揚、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を目的として、自治会が管理するごみ一時集積所の設置工事・改修等工事に対して、補助金を交付し、整備を支援しました。

【令和３年度実績】

申請件数	補助金額
173 件	4,700,000 円

③ 地域への出前講座・イベント等の実施

・ごみダイエット塾、小学校での環境学習等の実施　資料編Ｐ２４

適正なごみの分別方法・出し方等について、地域（自治会等の各種団体）からの要望に応じ、地域に出向いて講座を行う「ごみダイエット塾」を実施しました。

また、小学校４年生を対象に作成し配布しました社会科副読本「ごみとわたしたち」にあわせ、児童を対象に「環境学習」の一環として、ごみの分別等ごみ出しルールの説明のほか、ごみ収集車へのごみ積込実演等を実施しました。

【令和３年度実績】

事業等名称	実施団体数	参加者数
ごみダイエット塾	7 団体	149 人
小学校環境学習	35 校	1,705 人

・夏休み親子ごみ教室の継続　資料編Ｐ２５

子どもたちの環境への関心を高めるため、夏休み子どもごみ教室を開催し、親子３０名が西部クリーンセンターとリサイクルセンターを見学し、ごみの減量やリサイクルについて学びました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、三密を避けるため参加者を２グループに分けて実施しました。

【令和３年度実績】

開催日	場所	参加者数
令和 3 年 8 月 5 日	西部クリーンセンター、リサイクルセンター	30 人

・ごみ分別アプリの配信開始（メールマガジン配信事業からの移行）　資料編Ｐ２３

令和元年９月より、新たにごみ分別アプリ「さんあーる」を配信しています。居住地域を設定することで、収集日をカレンダー形式で確認できるとともに、指定した日時にごみ出し日・種類をアラームでお知らせする機能などを備えています。また、台風等の災害時のごみ収集状況やごみに関する情報をお知らせしています。

【令和４年３月までのダウンロード数】

ダウンロード数	18,610

【評価・課題】

平成３０年度から大型家具等ごみ出し支援事業を開始し、令和３年度までに１，６２３世帯に対して、大きな家具等をごみ一時集積所まで出すことが困難な世帯に市職員が

直接対象世帯宅まで収集に伺い支援を行いました。

適正なごみの分別方法や出し方について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、小学校での環境学習やごみダイエット塾など面前で行う講座・イベントは減少しましたが、環境だよりや市ホームページ、ごみ分別アプリ等を通じて情報発信を行いました。

小学校での環境学習では、小学校へ訪問し子どもたちにごみ処理の流れとごみの分別等ごみ出しルールなどの説明を行い、ごみ収集車への積込みから排出までの実演等を通じ子どもたちの環境への関心を高めることができました。

津市ごみ一時集積所設置等事業補助金交付事業を継続することで、収集効率の向上とともに集積所付近における公衆衛生の向上を図り、市民の美化意識の高揚及び生活環境の保全に寄与することができました。

【今後の取組】

今後の人口減少に伴う高齢化社会において、市民に分かりやすく負担の少ないごみの分別・収集方法の見直しを行うべく、引き続き協議を行っていきます。

大型家具等ごみ出し支援事業については、ごみ一時集積所まで大型家具等を排出することが困難な方（要支援認定者、要介護認定者、障がい者又は７５歳以上の者）を支援していく中で、当該制度を漏れなく真にお困りの方に知ってもらうために啓発を継続して行うとともに、安定的にサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

ごみ分別やごみ出しルールなどについて、環境だよりや市ホームページで情報発信するとともに、ごみダイエット塾など地域へ出向いての啓発活動や、小学校を訪問する環境学習については、地域や子どもたちの関心も高いことから、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底に努めながら、地域や学校との連携を十分に図り、今後の活動に取り組んでいきます。

津市ごみ一時集積所設置等事業補助金については、ごみ一時集積所は地域と連携したごみ処理行政を推進していく上で、地域の皆さんとの接点となる場所でありますので、より利用しやすい集積所になるよう補助制度の見直しに取り組み、今後も継続して事業を進めます。なお、補助金交付事務について、引き続き不適正な支出を防止するためのチェック体制の徹底に取り組みます。

《不法投棄の防止》

ア　不法投棄対策として、環境パトロールや啓発看板の設置を実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　環境パトロールの実施・啓発看板の設置・警察との連携強化等　資料編Ｐ２７

不法投棄された廃棄物について、地元の方や警察とともに現場確認を行い、不法投棄者の特定に努めました。

また、職員による環境パトロールを行うとともに、自治会等と連携し、警告看板を設置しました。

【令和３年度実績】

不法投棄対応件数	警告看板設置件数	消火器処理実績		タイヤ処理実績	
		本数	処理経費	本数	処理経費
129 件	224 件	66 本	104,150 円	294 本	185,020 円

【評価・課題】

環境パトロールや警告看板の設置など対策を行っていますが、依然として不法投棄はなくならないことから、警察や地元自治会等との協力を更に強化し、ごみを不法投棄しにくい環境づくりが必要です。

【今後の取組】

不法投棄対策として、環境パトロールや啓発看板の設置を実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により、こまめな草刈りを促進するなど不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。

《廃棄物の適正処理》

ア　ごみ分別方法の周知徹底を図り、中間処理過程においても徹底した分別を行い、廃棄物の資源化率を高めることにより、最終処分量の減量を図ります。

イ　各処理施設の安全で効率的な運転管理の徹底に努めるとともに、施設の長期的な運用の視点に立った検討も進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　ごみ処理施設内におけるごみの資源化の徹底

ごみ処理施設に直接ごみを搬入する市民や事業者に対して、ごみ分別の周知徹底を行うとともに、ごみ処理施設内の手選別作業により、ごみの資源化に取り組みました。

また、津市リサイクルセンターにおいて、破砕アルミの純度を高めるために、本格的に不純物の除去作業に取り組みました。

イ）

①　安全で効率的な施設運営及び廃棄物処理

ごみ処理施設の運転管理業者及び点検整備業者との定期的な打合せ会議等を実施し、情報共有することにより、安全で効率的な施設運営及び廃棄物処理に取り組みました。

②　施設の更新計画の検討

西部クリーンセンター及びクリーンセンターおおたかの施設の老朽化が進んでいることから、ごみ処理施設の現状の整理として、「津市の可燃性一般廃棄物処理の現状」の作成に取り組みました。

③　施設の維持管理情報

ごみ処理施設（西部クリーンセンター・クリーンセンターおおたか・津市一般廃棄物最終処分場）の維持管理情報を市ホームページで公表しました。

【評価・課題】

各処理施設において、安全で効率的な施設運営を行うことができました。

【今後の取組】

ごみの排出量の推移や資源化率等の推移を注視しながら、今後も継続して安全で効率的な施設運営及び廃棄物処理に努めていきます。

⑵　新エネルギーの適正な普及

《新エネルギーの利用促進》

ア　新エネルギー利用設備設置費補助金事業を継続し、家庭や事業所の屋根などに設置する自家発電型の太陽光発電設備等による環境への負荷の少ない新エネルギーの普及を促進します。

イ　本市はバイオマス産業都市として国の認定を受けており、４つのプロジェクト（木質バイオマス発電、木質バイオマス固形燃料化、食品系廃棄物、汚泥固形燃料化）を支援していきます。

ウ　新エネルギー利用施設の整備の際には、地域住民の暮らしに配慮した導入方法を検討するよう事業者等に指導します。

エ　公共施設等への新エネルギー設備の導入を進めます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　新エネルギー利用設備設置費補助金事業の継続　　資料編Ｐ３５

環境への負荷の少ない新エネルギーの導入を促進するため、新エネルギー利用設備設置費補助金交付要綱に基づき、太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム（エネファーム）の導入に係る補助金を交付しました。

【令和３年度補助金交付実績】

	太陽光発電				エネファーム	合計
	個人住宅	共同住宅	事業所	集会所		
件　数	95 件	1 件	3 件	0 件	141 件	240 件
金　額	5,700,000 円	60,000 円	180,000 円	0 円	8,460,000 円	14,400,000 円

イ）

①　バイオマス産業都市構想の進行管理　　資料編Ｐ３８

平成２５年に制定されたバイオマス産業都市構想で計画されている４プロジェクトのうち、木質バイオマス発電プロジェクト及び木質バイオマス固定燃料化のプロジェクトについては、平成２８年７月から民間企業が市内の未利用間伐材等を燃料とした発電を行っています。

令和３年度も間伐材が利用され、CO2 削減に貢献できました。

発電開始	平成 28 年 7 月
発電出力	約 20,000 kW
世帯換算	約 4 万 5 千世帯分
CO2 削減量	約 75,000t-CO2

※バイオマス施設の稼働率と現在の一般家庭の消費電力で計算すると約３万２千世帯となります。

ウ）

①　国、県のガイドラインによる助言及び指導

新エネルギー利用施設の整備に関して、地域住民の暮らしに配慮した導入を検討するよう、国及び県が策定したガイドラインを基に事業者等に助言及び指導（３９件）を行いました。

エ）

①　公共施設等への新エネルギー等の導入検討及び進行管理　資料編Ｐ３７

公共施設等への新エネルギー設備導入を進めておりますが、令和３年度は照明のＬＥＤ化などの省エネ改修は進んだ一方で、太陽光発電や風力発電などの新エネルギーを利用した発電設備の新規導入はありませんでした。

【評価・課題】

市民及び事業者に関しては、新エネルギー利用設備設置費補助金の交付実績が令和３年度は計２４０件あり、うち太陽光発電システムについては令和２年度よりも増加した上、過去数年交付申請のなかった共同住宅及び事業所への設置に対する交付実績もあったことから、新エネルギーに対する関心の高まりが伺えます。

一方、公共施設等に関しては、これまで小・中学校舎の大規模改修に併せた太陽光発電設備の設置が進められていましたが、小・中学校舎の大規模改修事業がひと段落したことから設置ペースは鈍化傾向にあり、令和３年度は新規導入なしとなりました。引き続き、既存施設の改修に併せた導入を継続していくことが課題となります。加えて、既設の太陽光発電設備についても故障などのために未稼働となっているものもあり、故障した設備の修繕や老朽化している設備の更新、維持管理についても検討する必要があります。

また、バイオマス産業都市構想における４つのプロジェクトのうち、木質バイオマス発電プロジェクト及び木質バイオマス固定燃料化のプロジェクトについては、順調に稼働していますが、残りの食品系廃棄物、汚泥固形燃料化の２つのプロジェクトについては、実施するためにはそれぞれ課題を抱えているため、課題解決のための研究を重ねる必要があります。

【今後の取組】

新エネルギー利用設備設置費補助金については、地球温暖化対策に貢献してきましたが、今後、更なる地球温暖化防止や地域における脱炭素の推進を図る上で、現在の補助制度の在り方、補助対象機器（太陽光・小型風力・エネファーム）の追加・変更・廃止等を含めた制度の見直しを検討していきます。

また、公共施設への新エネルギーの導入については、津市の事務事業における温室効果ガスの排出量の抑制に繋がるため、施設等を管理する部局に対し積極的に設置を推進していきます。

バイオマス産業都市構想については、現計画期間が令和５年３月末までであり、現在稼働中の２つのプロジェクトの更なる発展、未だ実現できていない２つのプロジェクトの計画内容の変更・廃止及び新規のプロジェクトについての検討を進めます。

《温室効果ガスの削減対策の推進》

ア　津市地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス削減に向けた啓発活動に取り組みます。

イ　森林の保全、街路樹や公園など公共施設の緑化を推進し、二酸化炭素の削減のための緑化を推進します。

ウ　アイドリングストップなどのエコドライブ、公共交通機関の利用、自転車の利用など温室効果ガスの削減につながる行動に個人もしくは事業所等団体で取り組む意識の高揚に努めます。

エ　教育委員会を通じ、学校や公民館等と連携し、家庭で家族とともに地球温暖化防止への取組を実践する講座などを開催し、普段から環境についての関心を持って行動する市民意識の醸成を図ります。

オ　低炭素社会の実現を目指すため、EV（電気自動車）及びＦＣＶ（燃料電池自動車）などの次世代自動車、ＺＥＨ（ゼロエネルギー住宅）など、二酸化炭素を出さない革新的なエネルギー高度利用技術の普及促進を図ります。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　環境イベント等による啓発

つ・環境フェスタは新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止となったため、本来、つ・環境フェスタ内で実施しているグリーンのカーテンのコンテスト及びグリーンのカーテン普及啓発ポスターの作成を別途実施しましたが、十分な啓発はできませんでした。

②　地球温暖化対策実行計画等の進行管理

・第１次地球温暖化対策実行計画の進行管理

令和３年３月に新たな計画を策定したことから、本計画期間で削減目標を達成できなかった原因をより一層研究し、新しい計画における進行・啓発に活用します。

・第２次地球温暖化対策実行計画策定・進行管理

令和３年３月に、新たな津市地球温暖化対策実行計画を策定し、令和３年度には計画の製本化及び啓発パンフレットの作成・配布を実施しました。今後についても、二酸化炭素排出抑制に係る取り組みについて市ホームページ・広報・イベント等を利用し、広く周知してまいります。

なお､国の目標が令和１２年度における温室効果ガスの排出量を平成２５年度比46%削減に変更されたことにより、本計画についても整合を図るため、内容の見直しを行います。

イ）

①　景観・維持管理等に配慮した街路樹や公園内植栽の配置

令和３年度は、香良洲高台防災公園整備において高台法面に、法面緑化を行いました。

また、開発行為に係る新規の公園整備において、景観・維持管理等に配慮した植栽の配置がされるよう指導しています。

② グリーンのカーテン普及促進

つる性植物で日差しを遮る「グリーンのカーテン」については、令和３年度は学校などを中心に市内４２施設で実施しました。

ウ）

① クールシェア、ウオームシェアの推奨

令和３年度も令和２年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症のまん延状況等を考慮した「新しい生活様式」が提案されたことから、大人数でひとつの空間を共有するクールシェア、ウオームシェアについては、積極的にその推奨について広報することを差し控えました。

② クールアースデー事業の継続　資料編Ｐ４０

誰でもできる家庭や職場での地球温暖化防止対策を推進するため、市役所などの市有施設において午後８時以降に執務室等の照明を消灯するライトダウン運動への参加を呼びかけるなど、温室効果ガスの排出量削減に取り組みました。

【令和３年度実績】　6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日

③ M-EMS 認証取得費

令和３年度においては、１つの企業がＭ－ＥＭＳ認証のステップ２を取得したため、１５０，０００円の環境マネジメントシステム認証取得費補助金を交付しました。

エ）

① エコ意識高揚に向けた実践講座などの開催　資料編Ｐ３９・４０

公民館講座６回（グリーンのカーテン事業における地球温暖化防止講座４回を含む）、小学校出前授業２回を実施し、家庭でできる地球温暖化防対策の方法を啓発しました。

② 市民版環境マネジメントシステム（生活かえる！エコエコ家族）の継続

資料編Ｐ３９

広報津５月１日号及び小学校向けに実施している夏休みこどもエコチャレンジのチャレンジシートにも案内を記載することで広く啓発を行ないましたが、１家族のみの認定となりました。

③ 夏休みこどもエコチャレンジの継続　資料編Ｐ３９

小学生を対象に家庭で実践できる身近なエコ活動に取り組んでもらうため、夏休みこどもエコチャレンジを実施しました。２，４００人を超える児童の参加があり、環境意識の高揚に寄与しました。

⑵　新エネルギーの適正な普及

【令和３年度実績】

参加校数	46 校
参加人数	2,379 名
推計 CO2 削減量	38,078kg

④　社会教育団体等に対する情報提供

毎月実施される地球温暖化防止中勢協議会の定例会に参加し、情報共有を図りました。

オ）

①　広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

革新的エネルギー高度利用技術の紹介について、令和３年度は広報津への登載を計画しましたが、関連する本市の補助金交付等がなく、施政についての紹介を主とする広報津の性質から掲載を見送りました。

②　つ・環境フェスタにおける啓発・技術紹介

令和３年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりつ・環境フェスタが実施されなかったため、次世代自動車やＺＥＨなどのエネルギー高度利用技術に係る啓発活動は実施できませんでした。

【評価・課題】

令和３年度も令和２年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント等の開催が中止・制限されましたが、その中でも夏休みこどもエコチャレンジ参加者数の増加や、学校への出前講座の開催など児童に対する環境意識の向上については一定の成果を上げることができました。

一方、市民に対する啓発は、「つ・環境フェスタ」の開催が中止されたなど、啓発の機会が失われたことに加え、エコエコ家族にチャレンジされた家族も１家族と少なく、今後の啓発方法の検討が必要となります。

津市地球温暖化対策実行計画については、国の目標値の変更により改めて策定する必要があります。

公園整備事業については、緑化を推進することができました。今後も、維持管理を適正に行い、公園の安全な利用を確保しつつ、緑を保っていく必要があります。

【今後の取組】

津市地球温暖化対策実行計画に基づき温室効果ガスの排出量削減を実行していくため、市民に対し広く継続的に地球温暖化対策について周知していく必要があります。これらの対策の周知と合わせエコエコ家族なども市広報や市ホームページへの掲載で繰り返し啓発を行うとともに、環境学習講座や「つ・環境フェスタ」等の環境関連のイベント、市内各所のイベントにて地球温暖化対策コーナーとして出展することで更なる啓発を実施してまいります。

津市地球温暖化対策実行計画については、県の動向を確認しつつ、今後実施する地球温暖化対策事業の計画についても記載するなどした上で、国の目標値との整合性を持た

せた計画を改めて策定します。

公園整備事業については、維持管理にかかる手間や費用を考慮したうえで、適度な緑化を推進していきます。

《省エネルギー対策の推進》

ア　省エネルギー家電の導入やこまめな電源のＯＮ/ＯＦＦを心がける行動、エコドライブの実践や自転車の利用など省エネルギーにつながる行動を広く、呼び掛けます。
イ　緑のカーテン普及事業や家庭でできる省エネルギーに関する講習会や情報発信を行います。
ウ　公共施設における電気、燃料等の効率的な使用を図ります。
エ　生活かえる！エコエコ家族などの市民版環境マネジメントシステムを推進します。
オ　事業活動における効率的なエネルギー利用について、市内事業者に呼び掛けます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　地球温暖化対策講座の継続　　資料編Ｐ３９・４０

公民館講座６回（グリーンのカーテン事業における地球温暖化防止講座４回を含む)、小学校出前授業２回及び６月の世界環境デーに合わせたＥＣＯ活講座を実施し、家庭でできる地球温暖化対策の方法を啓発しました。

②　環境イベント等による啓発

つ・環境フェスタなどの集客型のイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことから、イベントでの啓発は実施できませんでした。

環境だより７月１日号に省エネ及びエコドライブの啓発記事を掲載しました。

イ）

①　グリーンのカーテン普及促進事業の継続

市民向けの啓発事業として、４月よりグリーンのカーテンの効果や育て方などを記載したチラシを同封したあばしゴーヤの種子を市役所本庁舎、各総合支所及び各出張所において計１，２００袋配布したほか、５月下旬に津市橋北公民館、津市久居公民館、津市河芸総合支所及び津市香良洲公民館の４か所において新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で普及促進講座を開催し、計２４人の市民に参加いただきました。

また、市内の中学校１校よりグリーンのカーテンについての講義依頼があったことから、本市職員が講師となって、７月上旬に１２人の生徒にグリーンのカーテンについての説明を行いました。

②　環境イベント等による啓発

グリーンのカーテンについては、「つ・環境フェスタ」を本市と共同で開催する環境フェスタ実行委員会の協力の下、市内の市民及び事業者が育てたグリーンのカーテンを審査し表彰するコンテストを開催しましたが、事前の周知が不足していたことから５件の応募に留まりました。

６月５日の「環境の日」に合わせ、本市職員が講師となり地球温暖化問題、海洋ごみ問題及び食品ロス問題についての講話を行う「ＥＣＯ活講座」を津市橋北公民館にて開

催し、６人の市民に参加いただきました。

ウ）

①　庁内の環境マネジメントシステム推進事業の継続　　資料編Ｐ４１

庁内各課において津市環境管理マニュアルに規定する主任環境管理推進員及び環境管理推進員を指名し、環境目標を設定することにより、市の事務事業における環境への負荷を抑制すると共に、全ての職員に対する環境配慮への意識向上を図りました。

また、新たに内部環境監査員を養成した上で、庁内の１５課室に対し内部監査を実施し、環境マネジメントシステムが適切に運用されていることを確認しました。

【令和３年度実績】内部環境監査員養成数　30 人

エ）

①　市民版環境マネジメントシステム（生活かえる！エコエコ家族）の継続

資料編Ｐ３９

広報津５月１日号及び小学校向けに実施している夏休みこどもエコチャレンジのチャレンジシートにも案内を記載することで広く啓発を行ないましたが、１家族のみの認定となりました。

オ）

①　広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

環境だよりにおいてエコドライブ・省エネについての啓発記事を登載し市民向けの啓発を実施しましたが、事業者に向けた啓発は特に実施しませんでした。

【評価・課題】

省エネルギーの啓発や推進活動については、今後も新型コロナウイルス感染症のまん延状況等により各種イベントが中止されることも考えられるため、「新しい生活様式」に合わせた方法を考慮する必要があります。

環境マネジメントシステムについては、令和２年度に引き続き内部環境監査員の養成を図るとともに、庁舎等における同システムの運用が適切に行われているか、内部監査を通して実施することができました。

一方、津市全体での省エネルギー化を加速するため、「生活かえる！エコエコ家族」の参加者数を増加させるための積極的な啓発活動や津市環境マネジメントシステム認証取得費補助金制度を現状に即した見直しを行い、家庭生活や企業活動における意識の醸成を図る必要があります。

⑵　新エネルギーの適正な普及

【今後の取組】

市民向けの省エネルギーの啓発については、市ホームページを利用した方法や学校、自治会等地域の団体を利用した紙面による方法により周知を行います。

企業・団体に対する啓発については、商工会議所などを通じた広報や各企業・団体との個別の意見交換などを実施します。

なお、国の温室効果ガス削減目標の変更に伴い、津市地球温暖化対策実行計画を改めて策定する必要があることから、津市環境管理マニュアルについても同計画に沿った内容変更をする必要があります。これに合わせて現状の行政運営に合わせたシステムの再構築を目指します。

３　《環境目標３》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組結果

⑴　衛生的な生活環境の保全

《空き地・空き家等の適正管理》

ア　空き地・空き家化の予防・抑制のため、市民や所有者に対し、空き地・空き家を放置しない意識の醸成を図る啓発に取り組みます。
イ　資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される流通環境の構築に取り組みます。
ウ　適正に管理されていない空き地・空き家の所有者に対し、適正管理に向けた啓発や情報発信を行い、改善されない場合は所有者に対し指導を行います。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　無料相談会、広報津、環境だより、市ホームページ等による啓発

空き地・空き家対策として、市民や所有者に対し、予防・管理・利活用を促進させるため、広報津などで啓発を行うとともに、空き家無料相談会を開催し意識の醸成を図りました。

【令和３年度空き家無料相談会実績】

日時	場所	相談件数
11月13日（土）	中央公民館ホール（津センターパレス）	77件

②　高齢者施設、地域包括支援センター、在宅介護支援センター等へ出向いての啓発

空き家化の予防・抑制のため、地域包括支援センターおよび在宅介護支援センターに協力を依頼し、所有している空き家等を放置しないよう啓発活動を行いました。

③　転出者向け配布物等を利用した啓発

転出・転居者向けには、市広報等での啓発及び配布物を利用した啓発を併せて行い、適正な管理を促しました。

【令和３年度実績】

媒体	掲載号	内容
環境だより	7月1日号	空き家の早期利活用のススメ、空き地を所有している人へ
環境だより	12月1日号	空き家の予防・管理・利活用について、相談窓口の案内
広報津	4月16日号	空き地の適正な管理について
広報津	6月1日号	危険な空き家の相談について
広報津	3月1日号	転居・転出者への空き家管理について

(1)　衛生的な生活環境の保全

イ）

①　津市空き家情報バンクの運用

市内の空き家等の利活用を促進するため、市内全域を対象として津市空き家情報バンクを運用しています。

空き家情報バンクの登録物件の掘り起こしや成約件数の増加を目指した取組を進めました。

②　空き家ネットワークみえとの連携

市にあった空家所有者からの空き家に関する専門的な相談に対して、三重県宅地建物取引業協会や三重県司法書士会等の専門家８団体で構成する空き家ネットワークみえと連携して対応しました。

ウ）

①　空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、助言・指導・勧告等

資料編Ｐ４２

適正に管理されず周囲に危険を及ぼしている空き家の所有者などに対し、改善依頼を求めるとともに、改善が進まない空き家については空家法に基づく助言、指導、勧告を行いました。

空き家等をめぐる利活用の情報をまとめたパンフレットを窓口等で配布するなど、空き家等の利活用について周知・啓発を行いました。

【令和３年度末の状況】

特定空家等の認定件数　340 件				特定空家等以外　769 件	
解体等 改善済み	勧告	指導	改善に向け対応中	解体・補修等 改善済み等	改善に向け対応中
212 件	12 件	69 件	47 件	589 件	180 件

・適正に管理されていない空き家・空き地の草木の繁茂に係る相談対応

【令和３年度実績】

区分		相談件数	うち新規相談	うち再相談※
相　談　件　数		694 件	409 件	285 件
	うち改善	492 件	275 件	217 件
	（改善率%）	70.9%	67.2%	76.1%

【評価・課題】

空き地・空き家化の予防・抑制のため、広報津や環境だよりへの掲載、地域包括支援センターおよび在宅介護支援センターへの啓発活動、空き家無料相談会の開催などを併せて行い、空き地・空き家の発生抑制・適正管理に対する意識の醸成を図ることができました。

空き地については、「津市廃棄物の減量及び処理等に関する条例」等に基づき、空き家については、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、改善依頼を行い、迷惑

な空き地・危険な空き家の抑制に努めることができました。

市民から危険な空き家について相談を受付後、現地確認、所有者調査を行い、空家法に基づく改善依頼、指導、勧告を行いました。結果、令和３年度中に「特定空家等」は３０件、「特定空家等以外の空き家」では３５件が解体、補修等により改善されましたが、建物と土地の所有者が違う案件、所有者が遠方に居住しているなどの案件については改善に至るまで時間がかかり、課題となっています。

【今後の取組】

空き地・空き家の発生抑制・適正管理の意識の醸成を図るため、広報津、環境だより、市ホームページ等の様々な媒体を利用して継続した啓発を行います。

空き家の所有者に対しては、無料相談会を実施するほか、市役所においてワンストップで対応できる常設の相談体制を整備したことの啓発を行うとともに、関係団体とより一層連携を図り、所有者からの空き家に関する専門的な相談に対応していきます。

危険な空き家については、今後も空家法に基づき所有者等に対して適正に指導を行っていき改善に努めていきます。また、所有者不存在の「特定空家等」については、国及び県の補助金を活用して空家法に基づく略式代執行を検討していきます。

《愛護動物の適正飼養》

ア　狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防注射の実施の徹底を図ります。
イ　保健所と連携し、広報紙などによる動物の適正飼養に関する啓発を継続して行い、飼い主のマナー向上を図ります。
ウ　三重県と連携し将来的に犬・猫の殺処分がゼロになることを目標として、終生飼養等の動物愛護に関する啓発に取り組みます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　狂犬病予防対策業務実施事業の継続　資料編Ｐ４２

狂犬病予防法等に基づき、犬登録・狂犬病予防注射の実施を促進し、犬登録鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付等を行いました。

また、獣医師に犬登録鑑札・狂犬病予防注射済票の交付等に係る業務を委託し、犬の登録、狂犬病予防注射実施率の向上を図りました。

【令和３年度実績】

犬登録鑑札交付件数	狂犬病予防注射済票交付件数	犬鑑札再交付件数	狂犬病予防注射済票再交付件数	獣医師への業務委託件数
1,447件	12,232件	51件	11件	27件

②　狂犬病予防集合注射の継続

新型コロナウイルス感染症の状況が改善しないため、狂犬病予防集合注射を実施しませんでした。

③　広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

狂犬病予防集合注射を実施しないこと、また新型コロナウイルス感染症拡大の状況から狂犬病予防法に特例措置が取られ、狂犬病予防注射の接種期間が延長されたことから、広報津（４月１日、５月１日、９月１６日、１２月１日発行）や環境だより（６月１日発行）、市ホームページ等にて、動物病院等での接種の啓発を行い、実施率の向上を図りました。

イ）

①　三重県（津保健所）との連携による現地指導等

市民からの相談、苦情に対し迅速に対応するため、三重県（津保健所）と常に連携し情報共有及び現地確認を行い、飼い主等に適正飼養のための助言・指導等を行いました。

②　広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

ペットの適正飼養に関する啓発を広報津（９月１６日、２月１６日発行）や啓発チラシの配布等で行い、飼い主の適切なマナー向上を図りました。

ウ）

① 三重県（あすまいる）が実施するＴＮＲ活動への協力

三重県が始めたＴＮＲ活動は、飼い主のいない猫を捕獲し（Ｔｒａｐ）、不妊・去勢手術をして（Ｎｅｕｔｅｒ）元の場所に戻す（Ｒｅｔｕｒｎ）ことで、飼い主のいない猫をめぐる様々なトラブルの軽減を図り、地域の中で一代限りの命を見守る活動です。本市はこの活動に協力し、飼い主のいない猫の増加を抑制することにより殺処分の減少に寄与しました。

【令和３年度実績】不妊・去勢手術実施件数 94 頭

② 広報津、環境だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

三重県と連携して将来的に犬・猫の殺処分ゼロになることを目標とし、飼い主に対する終生飼養及び動物愛護に関する啓発を広報津（９月１６日、２月１６日発行）や啓発チラシ等で行いました。

【評価・課題】

狂犬病予防集合注射は新型コロナウイルス感染症の影響により実施しませんでした。そのため、動物病院等での狂犬病予防注射の接種の啓発を行い、犬登録鑑札・狂犬病予防注射済票の交付等に係る業務を獣医師に委託するなど、飼い主の利便性を高め、犬の登録、狂犬病予防注射実施率の向上に努め、狂犬病予防法等に基づく、犬登録鑑札、狂犬病予防注射済票の交付等を適正に実施しました。

また、愛護動物の適正飼養・終生飼養に関する啓発やＴＮＲ活動への協力などにより、飼い主のいない猫による生活環境への影響の抑制に努めることができました。

今後も犬登録・狂犬病予防注射の実施率の向上に向けた取組や動物の適正飼養に関する取組は、継続して行っていく必要があります。

【今後の取組】

犬登録・狂犬病予防注射の必要性を啓発するとともに、狂犬病予防集合注射と動物病院等における接種の方針について獣医師と協議を進め、連携して取組を行い、飼い主の利便性の向上に努め、実施率の向上に取り組んで行きます。

愛護動物の適正飼養・終生飼養およびＴＮＲ活動については、今後も三重県（あすまいる、津保健所）と協力して、将来的に殺処分ゼロ及び市民の相談・苦情の軽減に取り組んでいきます。

《公害の防止》

ア　大気・水質・騒音などの環境測定を継続して実施し、市民に環境情報の提供を行います。

イ　騒音・振動・悪臭など環境に関わる相談・情報提供に対し、現地調査など迅速に対応します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　環境調査事業の継続及び測定結果の公表

・大気環境業務　資料編Ｐ４４・４６

市内各地で簡易測定法による二酸化窒素および降下ばいじんの測定を行い、大気環境の状態を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

【令和３年度実績】

調査場所	二酸化窒素（単位：μg・NO_2/100cm^2/day）	降下ばいじん（単位：t/km^2/月）
津市役所	16	2.1
桃園小学校	7.6	2.7
上野小学校	15	2.4
芸濃庁舎	9.6	3.3
美里庁舎	6.3	2.0
安濃庁舎	7.2	3.0
香良洲庁舎	7.9	2.4
一志庁舎	8.4	2.1
白山保健福祉センター	7.1	3.3
美杉庁舎	4.1	2.0

・水質環境業務　資料編Ｐ４９～５４

市内の河川および海域で公共用水域の水質測定を水質環境の状態を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

【令和３年度実績】

河川				
調査場所	ＢＯＤ（単位：mg/L）	環境基準	大腸菌群数（単位：MPN/100mL）	環境基準
中ノ川（中ノ川橋）	1.7	3	3.9E+03	5,000
安濃川（安濃橋）	1.4	2	8.7E+03	1,000
岩田川（五五六橋）	3.1	3	3.8E+04	5,000
長野川（一峰橋）	1.1	2	3.3E+03	1,000

雲出川（須渕橋）	1.0	1	1.1E+03	50
雲出川（赤岩橋）	1.3	2	2.9E+03	1,000

海　　域						
調　査　場　所	ＣＯＤ（単位：mg/L）	環境基準	全窒素（単位：mg/L）	環境基準	全隣（単位：mg/L）	環境基準
マリーナ河芸前千里海岸	2.4	3	0.24	0.3	0.050	0.03
白塚海岸	2.6		0.25		0.056	
安濃川河口	2.2		0.27		0.065	
御殿場海岸	2.4		0.35		0.062	
雲出古川河口	2.6		0.25		0.062	

・ダイオキシン類測定業務　資料編Ｐ５５～５７

市内各地でダイオキシン類を測定し、大気、水質、土壌に含まれるダイオキシン類の状況を調査しました。また、調査結果を市ホームページで公開し、市民に環境情報を提供しました。

【令和３年度実績】

大　気　環　境　（単位：pg-TEQ/㎥）

調　査　場　所	年平均値	環境基準
長谷山市民館	0.0048	0.6 以下
榊原上教育集会所	0.0032	
上野小学校	0.0044	
安芸津衛生センター	0.0038	
香良洲庁舎	0.0045	
白山保健福祉センター	0.0033	
美杉庁舎	0.0026	

水　質　環　境　（単位：pg-TEQ/L）

調　査　場　所	年平均値	環境基準
殿村用水(分部と安濃町境)	0.51	1 以下
蛇川(西浦橋)	0.21	
榊原川（別所橋）	0.075	
中ノ川(中ノ川橋)	0.22	
田中川（汐見橋）	1.5	

土　壌　環　境　（単位：pg-TEQ/g）

調　査　場　所	年平均値	環境基準
榊原上教育集会所	0.092	1,000 以下
ピュアタウン団地内公園	4.5	

② 協定に基づく、事業所への立ち入り調査の継続 資料編Ｐ５８

環境保全に関する協定を締結している工場・事業場や市内のゴルフ場に対して立入調査を実施し、工場等からの排水の水質や悪臭物質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等の監視・指導を行いました。

【令和３年度実績】

工場排水分析		農薬等分析		悪臭物質分析	
対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数
30者	1～2回	6者	2回	4者	1～2回

イ）

① 公害苦情相談への対応 資料編Ｐ４３

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭等に係る苦情（１２２件）に対し、調査・指導を行いました。

【令和３年度実績】

種別	件数
大気汚染	57
水質汚濁	14
土壌汚染	0
騒音	25
振動	4
地盤沈下	0
悪臭	11
その他	11

② 油流出事故への対応

油流出事故（２件）及び水質関連事件（１２件）が発生し、発生時においては各関係機関と連携し対応しました。

【評価・課題】

市内各地で定期的に環境調査を実施し、状況を把握するとともに、調査結果を市ホームページで市民に環境情報として提供することで安全で安心して暮らせる快適な環境の保全に努めました。

また、工場排水の水質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等を監視・指導することにより公害を未然に防止することができました。

【今後の取組】

今後も継続的に二酸化窒素濃度及び降下ばいじんの値の調査、公共用水域の水質環境の状態調査及びダイオキシン類の測定調査を継続して行い、環境状況を把握するとともに、調査データを蓄積することにより、季節的な変動、経年変化等を把握しつつ、大気、水質及びダイオキシン類の状態を監視していきます。

環境保全に関する協定を締結している工場・事業場、市内のゴルフ場等に対する立入

調査、工場排水の水質、ゴルフ場等の調整池・放流水中の農薬等の分析を行い、工場等の監視・指導を行っていきます。

また、市民からの相談、苦情に対しては、早急に対応するとともに、大気汚染等の防止について、広報紙等での啓発を行っていきます。

《生活排水対策》

ア　公共下水道供用開始地域の未接続世帯の公共下水道への接続について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。
イ　下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域は、市営浄化槽事業として、合併浄化槽の早期普及と適正な維持管理に取り組みます。
ウ　合併浄化槽の清掃やし尿くみ取りについて、安定した体制の維持に努めるとともに、合併浄化槽の適正管理について広く啓発します。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　各種補助事業等の実施

公共下水道供用開始区域の公共下水道への接続を促進するため、各種補助事業を実施し、水洗化率の向上を図りました。

【令和３年度補助実績】

補助等の名称	実績
津市水洗便所改造費助成金	2件
津市下水道普及向上預金補助金	0件
津市水洗便所改造資金融資あっせん	利用者22件　新規1件
津市浄化槽雨水貯留施設転用補助金	1件

②　下水道だよりによる周知及び津まつり、つ・環境フェスタ、みえ環境フェアによる啓発

広報津への折り込みで下水道だよりを２回発行し、津市の下水道事業を紹介しました。津まつり、つ・環境フェスタ、みえ環境フェアは新型コロナウイルス感染拡大防止対策により開催されなかったため、啓発活動は実施できませんでした。

【令和３年度下水道だより発行実績】

発行日等	内容
5 月 16 日号	令和 3 年度予算について
12 月 1 日号	下水道事業会計の令和 2 年度決算の状況について

イ）

①　市営浄化槽事業の推進

市営浄化槽事業対象区域において市営浄化槽の設置を推進し、浄化槽３，４７８基が市営浄化槽事業の対象施設となり、市が適切な維持管理を行うことができました。市民の協力を得て、公共用水域の水質改善に向けた取組ができました。

【令和３年度実績】

市営浄化槽事業の対象となった施設数　3,478 基

（内訳：　帰属 2,733 基　転換 482 基　新築 263 基）

② 共同汚水処理施設修繕工事補助金交付事業の継続 資料編Ｐ６４

共同汚水処理施設の適正な管理は生活排水対策の重要な役割を担っていることから、管理組合等が実施する施設修繕工事に対して補助金の交付を行いました。適正な施設管理による公共用水域の水質改善に向けた取り組みができました。

【令和３年度補助実績】

補助件数	補助金額
4件	7,997,000円

ウ）

① 広報津、下水道だより、市ホームページ、チラシ配布等による啓発

公共用水域の水質保存のため、水質を汚す原因の一つである生活排水について家庭でできる排水対策を市ホームページで情報発信しました。

② 浄化槽設置整備事業補助金交付事業の継続 資料編Ｐ６１

生活排水対策として有効な合併処理浄化槽の設置、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に対して、補助金の交付を行いました。合併処理浄化槽の設置や転換を進めることで公共用水域の水質改善を促進することができました。

【令和３年度補助実績】

補助対象	実績数	補助金額
浄化槽5人槽設置補助	47件	5,684,000円
浄化槽7人槽設置補助	23件	4,235,000円
浄化槽10人槽設置補助	0件	0円
計	70件	9,919,000円
単独浄化槽撤去費補助	5件	450,000円
転換に伴う配管費補助	13件	780,000円
計	18件	1,230,000円
合　計		11,149,000円

【評価・課題】

公共下水道への接続や水洗化を促進するための補助および融資制度、生活排水対策として有効な合併浄化槽の設置や単独浄化槽およびくみ取り便槽からの転換に対して補助制度は、例年、多くの市民に活用され、公共下水道への接続や合併浄化槽の設置の促進に有効な制度であり、公共用水域の水質改善にも寄与しています。

また、下水道だよりの発行や市ホームページでの啓発を通じ、下水道事業の重要性について周知することができました。

【今後の取組】

公共下水道への接続を促進するための補助および融資制度を継続して行うとともに、広報紙等で各補助等制度のＰＲを継続的に行い、さらなる下水道への接続、水洗化率の向上に取り組みます。

⑴　衛生的な生活環境の保全

市営浄化槽事業については、広報津、市ホームページ等による啓発を継続し、市営浄化槽設置工事（転換・新築）の推進と市への帰属に向けた取組を行っていきます。

共同汚染処理施設の適切な管理は、生活排水対策の重要な役割を担っていることから、管理組合等が実施する施設修繕工事に対して補助金の交付を継続し、健全な施設を確保することにより、公共用水の水質改善に向けた取組を推進していきます。

単独浄化槽やくみ取り便槽からの転換の促進を図り、公共用水域の水質改善に取り組んでいきます。

合併処理浄化槽の適正管理について、保守点検や清掃、法定点検の実施を広報津や市ホームページなどを通じ、呼びかけていきます。

《市営墓地の適正管理》

ア　市営墓地について、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　墓地の定期的な状況確認、管理者との連絡体制の確保

市内６カ所の市営墓地について、施設の適正な維持管理を行うとともに、無縁墓等の管理実態が不明・不全となった又はおそれのある墓がないか墓地台帳等を活用し注視しました。

令和３年度において管理不全墓はありませんでした。

【令和３年度末市営墓地の状況】　（単位：区画）

地域	久居			安濃	香良洲	一志	合計
墓地名	野村	戸木	狐塚	安濃	香良洲	一志	
区画数	450	1031	55	92	921	252	2801
空区画数	9	8	0	14	145	11	187

【評価・課題】

現在、市営墓地には、無縁墓はありませんが、将来的には無縁墓が発生することも懸念されるため、各区画の管理状況に注意する必要があります。

【今後の取組】

定期的に管理不全となりそうな墓地がないか現地を確認・調査するとともに、使用権の継承手続きや不要な墓地の返還等について啓発を行います。また、現在の管理者との連絡体制を維持し、無縁墓の発生防止に努めます。

⑵　やすらぎを感じる生活空間の形成

《緑の保全・創出と水辺環境の保全》

ア　緑地の保全を図り、公共施設の緑化を進めるとともに、民有地の緑化意識の向上に努めます。
イ　自治会などによる継続的な公園の管理及び緑化・美化運動への参加を呼び掛け、地域ぐるみの緑化・美化活動の意識向上を図ります。
ウ　都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。
エ　公園は、地域コミュニティの場などとして活用されており、幅広い世代が安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。
オ　本市の里山や川辺空間、海岸の様子を市内外にＰＲし、これらの自然環境の保全・美化活動を担うボランティア団体等の育成に努めます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　市公共施設の敷地内緑化の推進

②　景観法に基づく通知制度の活用

③　景観アドバイザー制度の活用促進　資料編Ｐ６８

本市が整備する公共施設や国・地方公共団体が行う建築等については、周辺の景観との調和に努めるとともに、景観法に基づく通知制度や景観アドバイザー制度などを活用して、良好な景観形成や敷地内の緑化への誘導を図りました。

④　津市景観計画における届出制度の運用　資料編Ｐ６８

民有地の建築等については、津市景観計画における届出制度の運用により、周辺の景観との調和に努めるとともに、敷地内の緑化に努めました。

⑤　生け垣緑化用苗木の配布事業、記念樹配布事業等の継続　資料編Ｐ６５

地域緑化、家庭緑化の推進を目的に、記念樹配布事業や生け垣緑化苗木配布事業を行うとともに、公共空間の緑化推進を目的に自治会・市民団体等への緑化・美化運動による花苗等の配布を行いました。

【令和３年度苗木配布等実績】

事業名		件数
生け垣緑化用苗木配布事業		14
記念樹配布事業	新築	120
	結婚	130
	出生	322
	還暦	137
緑化・美化運動事業		299

⑥　津市民緑と花の市の開催

例年、緑化意識の向上等を目的とし、県内の園芸・造園業者による、庭木や花苗、園芸用品などの展示販売を行うとともに、花木の育て方や、花苗の育成に関する講習会などを春及び秋の津市民緑と花の市で実施しています。令和３年度については、新型コロナウイルス感染拡大の防止のため津市民緑と花の市は中止となりましたが、記念樹の配布、ガーデニング講習会を行うことで、家庭などへの緑化・美化意識の啓発を図りました。

イ）

①　市民清掃デーの継続及び参加促進　資料編Ｐ７０

例年、各自治会や団体等に市民清掃デーへの参加を呼びかけ、市内各地で道路や公園などの清掃が行われますが、令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの地域で中止となりました。

【令和３年度実績】約 5,900 人

地域	実施日
津	中止
久居	中止
河芸	各自治会で判断
芸濃	中止
美里	各自治会で判断
安濃	中止
香良洲	中止
一志	中止
白山	中止
美杉	中止

②　自治会やボランティア団体を対象に「緑化・美化運動」の継続

各自治会や市民団体等による公園や道路等への緑化活動に対し、苗木や花苗、肥料等を支給することで、緑豊かで美しいまちづくりやコミュニティづくりを促進しました。

【令和３年度支給実績】　170 団体

⑵　やすらぎを感じる生活空間の形成

③　市管理の公園について、地元自治会等への管理委託の継続

既契約の公園については、継続して地元自治会等へ管理業務を委託すると共に、開発行為等による新設公園についても地元自治会等への管理業務を委託するようにしています。

ウ）

①　都市計画事業の実施については周辺環境や整備方針等の特徴に応じた施設配置を継続

周辺環境に配慮した公園実施設計に基づき、香良洲高台防災公園整備事業において法面整備工事を行いました。

エ）

①　交付金を活用した既存公園の遊具等老朽化施設を計画的に更新

津市公園施設長寿命化計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して整備を進める予定でしたが、交付金の配分状況により、未実施となりました。

オ）

①　自然ガイドブックによる啓発

市内の多様な自然を身近に親しむことを目的に作成した「つし自然ガイドブック」を活用した自然観察会を実施しました。

②　自治会やボランティア団体を対象に「緑化・美化運動」の継続

市民団体や自治会等による河川敷等への季節を感じられる緑の空間づくり等への活動に対し、苗木や花苗、肥料等を支給することで、地域住民が親しめるまちなみ形成や地域コミュニティづくりを促進しました。

【令和３年度支給実績】　170 団体

【評価・課題】

記念樹の配布、生け垣緑化用の苗木配布等により、地域緑化、家庭緑化を促進することができました。また、公共空間の緑化推進を図るため行っている緑化・美化運動については、参加団体が増加しており、市民の緑化・美化運動の意識が向上していることが確認できました。

公園整備において、地元住民との協議を行いながら、地域の実情や市民のニーズに対応し、計画的な整備を推進することができました。

公園施設の老朽化対策として、交付金を財源として遊具更新を中心に行っていますが、交付金の配分状況により、遊具更新の進捗状況が芳しくない状況です。

【今後の取組】

今後も市民による緑化・美化運動が継続して行われるよう周知を図りつつ、幅広い世代の多くの市民の参加を促し、市民との協働による潤いあるまちづくりに取り組みます。

遊具更新については、利用状況や地域ニーズを踏まえて優先順位をつけながら、社会

資本整備総合交付金を活用して、遊具更新の進捗を図ってまいります。

《良好な景観の保全》

ア　市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発などを行い、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機づけ、知識の普及などに努めます。
　また、大規模な建築行為や開発行為等については、景観法に基づく届け出による審査のほか、景観アドバイザーによる助言相談等を行うことにより、良好な景観形成を進めます。

イ　屋外広告物については、違反指導を行い、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・指導を図るとともに、倒壊や落下等による事故防止のため、適切な管理を行うよう事業者等に対し必要な指導等を行います。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　各地区の景観啓発事業の紹介（広報津、まちづくり通信など）

良好な景観形成を促進するため、重点地区にについて市ホームページで紹介するとともに、重点地区に指定した地域の取組をまちづくり通信などで紹介するなど、景観に関する関心や意識の啓発に努めました。

②　津市民緑と花の市の開催

例年、春及び秋に実施している津市民緑と花の市にて、花苗の育て方に関する講習会等を実施し、緑化活動を通した良好な景観形成への取り組みの推進を図っています。令和３年度については、春及び秋に実施している津市民緑と花の市は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となりましたが、記念樹の配布、ガーデニング講習会を実施し、家庭でできる緑化活動や良好な景観形成への取組の推進を図りました。

③　景観法及び津市景観計画に基づく届出制度の継続　資料編Ｐ６８

市内全域を景観計画区域とした津市景観計画における届出制度の運用により、地域の景観特性を踏まえて、周辺の景観との調和に配慮することを求めることで、良好な景観形成への誘導を図りました。

【令和３年度届出実績】　117 件

④　景観アドバイザー制度の活用促進

地域の景観に配慮した建築がされるよう景観アドバイザー制度の周知を行い、民間建築物への当該制度の活用を啓発しました。

イ）

①　屋外広告物許可業務に基づく啓発・指導　資料編Ｐ６９

三重県屋外広告物条例により屋外広告物の設置時に立地や規模等について必要な規制を行い許可するとともに、違反があった場合には指導を行うなど、良好な景観の形成を

目指しました。

また、許可申請の更新月に「屋外広告物（掲出物件）自己点検結果報告書」の提出を義務付け、適切に管理するよう指導しました。

【評価・課題】

良好な景観形成を促進するため、重点地区に指定した地域の取組をまちづくり通信などで紹介することで、良好な景観づくりに取り組むきっかけを提供することができました。また、景観行政団体として、景観法に基づく届出の審査を行い、建築物等の景観に対する配慮を求めることで、良好な景観形成を図ることができました。

屋外広告物については、三重県の条例に基づき許可や指導を行ったことで、適正な掲載を誘導することができました。さらに適正化旬間に違反建築物への重点的な指導を行い、良好な景観が阻害されないように努めました。

【今後の取組】

津市景観計画に基づき、引き続き本市の良好な景観形成の推進に努めます。

屋外広告物については、良好な景観が阻害されないよう県条例に基づき看板等の規制・誘導を行うとともに、違反広告物についても継続的な指導を行っていきます。

また、良好な景観づくりに取り組む事例を情報発信し、良好な景観づくりに対する市民の意識高揚に努めていきます。

《歴史文化環境の保全》

ア　歴史的建造物、史跡、伝統文化、伝統芸能などの歴史的資源が人々の暮らしの中で世代を超えて親しまれ、潤いとやすらぎのある生活環境が継承されるよう、保存、活用に努めます。

イ　地域の伝統文化や伝統芸能の保存、継承及び普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。

ウ　歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。

【令和３年度の取組結果】

ア）

①　歴史的資源（津城跡、北畠氏城館跡など）を活用

伝統芸能の鑑賞・発表の場として歴史的資源も活用しつつ、令和３年度は北畠氏ゆかりの地である多気北畠神社を会場として薪能を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

②　文化財の指定及び登録による保護

市内に残る歴史資料や建造物について、文化財の指定および登録に向けた調査を実施しました。

イ）

①　無形民俗文化財等の伝承活動事業への補助金交付

文化財の保存活用を図るため、無形民俗文化財等の伝承活動や管理事業に係る保護事業１９件に対して補助金を交付しました。

【令和３年度実績】

補助対象事業	補助金額
文化財保護事業補助金　管理事業（種子碑ほか 9 件）	187,000 円
文化財保護事業補助金　伝承活動事業（牛蒡祭ほか 8 件）	267,200 円

②　歴史・文化を学習できる機会の提供（親子洞津谷川塾、歴史まるごと体験塾など）

伝統芸能の保存、活用を目的として、各地に伝わる伝統芸能の披露や食の振る舞いなどを行う郷土芸能ふれあいフェスティバルを津市久居アルスプラザで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、歴史まるごと体験塾については令和２年度に引き続き中止としました。津が生んだ江戸時代の国学者　谷川士清の功績を学ぶ親子洞津谷川塾については、感染防止対策のもと一部の内容等を見直し、小学校４年生から６年生の親子を対象として実施しました。

【令和３年度実績】

事業等名称	開催日	開催場所	参加者数
親子洞津谷川塾	7 月 18 日（日）	新町会館	12 人

ウ）

①　歴史資料等の収集・発掘

市民から寄贈された津市に歴史に関わる資料１２１点の収集を行いました。

②　民俗芸能や伝統行事等の紹介

市内で開催される無形民俗文化財等の開催情報については、市ホームページに掲載し、情報発信を行ってきましたが、令和３年度については新型コロナウイルス感染症により関係者のみでの実施となる事例が多いことから、市ホームページ等への掲載は見合わせました。

【評価・課題】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和２年度に引き続き、令和３年度の事業を中止しましたが、今後は新しい生活様式の中で感染拡大防止措置をとりながら事業の継続を目指します。

津市の歴史・文化を伝える文化財を未来へ継承していくため、新たな文化財の指定および登録に係る調査を実施したほか、継続的に行っている無形民俗文化財等の伝承活動事業への補助金交付により、文化財の保存、活用を図ることができました。

次世代を担う子どもたちに歴史・文化を学習できる機会の提供として実施してきた啓発事業については、一部は新型コロナウイルス感染症防止対策のため開催中止となりましたが、実施内容を見直し、限定的ながらも実施することができました。文化財の情報については、引き続き歴史資料の展示・公開や広報活動により周知・発信を行っていく必要があります。

【今後の取組】

引き続き文化芸術の振興を図るため、歴史的資源を伝統芸能の鑑賞・発表の場として活用し、薪能を開催していきます。

また、地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承に向け、市民の発表や鑑賞の機会を創出するものとして郷土芸能ふれあいフェスティバルを引き続き開催していきます。

文化財の指定・登録に関わる調査研究、文化財伝承活動に要する経費等への補助金交付を行うほか、歴史・文化の学習機会の提供や収集した歴史資料の展示・公開など市民への文化財保護に関する普及・啓発について、継続して実施していきます。

第５章　計画の実現に向けて

１　市民の環境意識の向上

⑴　環境に対する市民意識の向上
ア　市民清掃デーなど、市民による清掃活動のさらなる拡大を進めます。
イ　環境だよりや本市の広報紙、ホームページにおいて、継続して啓発活動を行うとともに、様々な機会をとらえて、環境に対する市民意識の向上を図ります。
ウ　ごみ減量やリサイクルを始め、日常生活における環境に配慮したライフスタイルへの転換を啓発します。
⑵　地域・学校における環境学習
ア　つ・環境フェスタなどのイベントやごみダイエット塾などの講習会の開催を始め、こどもエコクラブ事業や生活かえる！エコエコ家族事業など、幅広い世代の方々が参加し、環境について考える機会を提供します。
⑶　地域リーダーの育成
ア　地域や学校、職場等で環境活動を率先して推進するリーダーやボランティアを養成するための学習会などを行うとともに、ボランティア団体の育成を支援します。
イ　自然観察会やボランティア活動などへの参加を積極的に呼び掛け、体験学習の機会の充実を図り、環境意識の高い人材の育成に努めます。
⑷　情報発信の充実
ア　ごみ処理に係るコスト情報やごみ分別方法、リサイクルの大切さなど様々な情報を分かりやすく、また、興味をもってもらえるように工夫し、情報発信を行います。
イ　環境に関わる情報を様々な機会を捉えて発信します。

【令和３年度の取組結果】

⑴　環境に対する市民意識の向上

リサイクルの推進や生ごみ処理機等購入補助金の交付などのごみ減量の取組、グリーンのカーテン普及促進などの環境に負荷の少ないライフスタイルの紹介、空き家対策などについて、環境だより、広報津、市ホームページにおいて啓発しました。

⑵　地域・学校における環境学習

つ・環境フェスタは、新型コロナウイルス感染症拡大により開催が見送られましたが、市ホームページでつ・環境フェスタの歴史や各コーナーの紹介、令和２年度のつ・環境フェスタで実施した映像配信の再配信をするなど、市ホームページでの啓発の充実を図りました。

地域の集会等へ出向いての「ごみダイエット塾（出前講座）」や公民館で行う「地球温暖化対策講座」、小学校での環境学習や夏休みこどもエコチャレンジの実施など、環境に関する意識の高揚を図りました。

⑶　地域リーダーの育成

山と川と海のネットワーク推進の一環として、環境保全活動に携わる人材育成を目的とした環境基礎講座を開催しました。講座には２４名が参加され、座学や施設見学を通じ、環境に関わる知見を広げてもらうとともに、リーダー的役割を担う人材育成に努めました。

⑷　情報発信の充実

ごみの減量につながる生ごみ処理機等購入費補助制度、間違えやすいごみの分別方法、生ごみの水切りなどについて情報発信しました。

また、リサイクルセンター併設の自然観察の森において自然観察会や野鳥観察会、親子昆虫観察会を開催するなど、環境に関心を寄せてもらうための環境学習会を開催しました。

【評価・課題】

リサイクル、ごみ減量、地球温暖化防止、空き家対策など、より暮らしやすい環境づくりに向けた取組について、環境だよりや広報津、市ホームページにおいて広く情報発信するとともに、ごみダイエット塾（出前講座）や環境講座などを開催し、市民に直接、環境について考えてもらう場を提供することができました。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により市民清掃デーやつ・環境フェスタ等のイベントの開催が制限されたこともあり、市民に対する啓発が十分できたとは言い難い状況です。今後は、感染防止対策を徹底しながら啓発していく方法を検討する必要があります。

【今後の取組】

今後も、より暮らしやすい環境づくりに向けて、興味をもってもらえるように方法を工夫しながら、様々な分野について広く啓発活動を行っていきます。

イベントや学習会などは、新型コロナウイルスの感染状況によっては規模を縮小しての開催または中止になる場合があるため、啓発方法の見直しについても検討していきます。

２　協働による環境活動の促進

⑴　環境活動への支援
ア　資源ごみ回収活動の重要性や市の支援制度についての情報発信を行い、資源ごみ回収（廃品回収）活動への参加を広く呼び掛けます。
イ　自治会や団体、事業所など、市民によるボランティア活動を支援します。
⑵　各主体の連携による環境活動の促進
ア　市は率先して、環境マネジメントシステムに基づく環境に配慮した行動に取り組むとともに、市民・事業者などが連携して、環境への負荷の少ない活動に取り組むように行動します。
イ　環境に関わるボランティア団体等の活動を把握し支援するとともに、それらの連携を促進していきます。
⑶　環境学習センターの活用
ア　環境学習センターが市民の環境学習・環境活動の拠点となり、人材育成・人材活用の場となる体制づくりに積極的に取り組みます。
イ　環境学習センターの活動について情報発信を行い、子どもから大人まで幅広い世代の方々に活用される事業を展開します。
ウ　国や県、高等教育機関等と連携し、市民が様々な環境問題等について、考え、学ぶことができる機会づくりを進めます。

【令和３年度の取組結果】

⑴　環境活動への支援

リサイクルの推進により、ごみの減量化を図るため、リサイクル資源回収活動報奨金制度について情報発信し、自治会や子供会等に資源物の集団回収の実施を奨励しました。令和３年度は２０１団体が取り組まれ、約１，６３０トンの資源が回収されました。

⑵　各主体の連携による環境活動の促進

市では、庁内の環境マネジメントシステム推進を図るため、内部環境監査員を養成し、事務事業の環境への負荷の低減に努めました。また、地球温暖化防止対策として、庁舎の照明を午後８時以降消灯するライトダウンデーを設けるなど環境に配慮した行動に取り組みました。

津市エコサークルに加入している団体の活動内容を紹介するため、津市エコサークル活動報告会を開催し、団体同士の交流や環境についてのボランティアに関心のある人との交流を図りました。

⑶　環境学習センターの活用

環境学習センターでは、自然観察の森で親子昆虫観察会などを開催し、２６１名の参加がありました。

また、リサイクルセンターの見学を受け入れており、小学校等の社会見学で３６校１，４７６人の児童・生徒が訪れ、その他自治会などからの見学を合せて、１，７４７人の見

学者がありました。また、３Ｒなどに取り組む自主活動団体による活動も当センターで行われ、延べ３６９人に利用されました。

さらに、新雲出川物語推進委員会主催の環境基礎講座や三重県環境学習情報センター主催の環境学習講座を開催し、県や団体等との連携により、市民が環境について学び、考える機会づくりに努めました。

【評価・課題】

自治会や子供会等による資源物の集団回収は、２０１団体が約１，６３０ｔの資源を回収し、資源の循環に寄与されていますが、例年より活動団体数、回収量ともに減少しました。継続した啓発活動を行うとともに、集団回収に取り組みやすくなるような支援が必要です。

津市エコサークルの参加者数が伸び悩んでいるため、津市エコサークルについて広く周知するとともに、エコサークルに加入する意味について再考する必要があります。

また、自然観察会などの開催や施設見学の受入等により、環境に対する意識高揚を図っていますが、まだ十分な状況ではないことから、多種多様な学習会の開催や情報発信を行い、環境学習の内容を充実させることが必要です。

【今後の取組】

自治会や子供会等による資源の集団回収活動を促進するため、リサイクル資源回収活動報奨金制度を継続し、資源物の集団回収を支援していきます。また、団体や市民に環境活動への参加を呼びかけるとともに、取り組みやすくなるような方法を研究していきます。

また、環境ボランティア団体の交流・連携の促進や、多くの人に環境についてのボランティアに関心をもってもらうため、市ホームページ等で津市エコサークル加入団体の活動内容を紹介したり、引き続き津市エコサークル活動報告会を開催するなどして、津市エコサークル事業の充実を図ります。

環境学習センターの活用については、環境活動団体や国や県、教育機関と連携して、多種多様な学習会の企画や環境に関する情報発信を行い、環境学習の内容を充実させていきます。

３　環境への負荷の少ない事業活動

⑴　環境マネジメントシステムの導入促進
ア　環境マネジメントシステムを踏まえた環境への負荷の少ない活動に努めるよう事業者や各種団体等へ啓発します。

【令和３年度の取組結果】

⑴　環境マネジメントシステムの導入促進

事業者において環境への負荷の少ない活動に努めてもらうため、三重県版小規模事業所向け環境マネジメントシステム（Ｍ－ＥＭＳ）認証の取得を推奨し、必要な経費の一部を支援する補助金を交付しています。

令和３年度は市広報及び市ホームページにて周知を図った結果、Ｍ－ＥＭＳステップ２を取得した企業より申請があり、１件１５０，０００円の補助金を交付しました。

【評価・課題】

令和３年度はＭ－ＥＭＳの認証取得に対する補助金の申請が１件ありましたが、申請自体は年々減少傾向にあります。これは当補助金制度設立から１０年以上経過し、認証取得を希望する企業からの申請はある程度なされたこと、ＳＤＧｓなど環境以外の分野にも視野を広げた世界的な活動に賛同する企業が増加したことも一因と考えられます。

【今後の取組】

Ｍ－ＥＭＳ認証取得の補助金について、制度設立から１０年以上経過し、制度設立時と現時点では企業の環境に対する考え方、関わり方が変化してきたことも考えられるため、変更・廃止を含めた制度の見直しを図ります。

また、ＳＤＧｓやＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥなどの情報を発信することにより、民間事業者と行政が同一の目標や意識を共有し、環境への負荷を軽減できるように努めます。

資　料　編

資　料　編　目　次

《環境目標１》「自然と調和した恵み豊かな環境」
⑴　自然環境の保全
○　山と川と海のネットワークの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
・山と川と海のネットワークの取組実績
○　里地・里山・里海の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
・自然体験型学習会の開催実績
⑵　公益的機能の維持増進
○　森林環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
・皆伐跡地等への広葉樹植栽取組実績
・「企業の森」制度による森づくり取組実績
・森林環境創造事業による取組状況
・「森林経営計画作成促進」に対する支援状況
・森林環境譲与税を活用した取組実績
・みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組実績
○　農地環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
・農地流動化対策事業による取組実績
・農村交流支援事業による取組実績
・有害鳥獣による農作物の被害防止対策の取組状況
《環境目標２》「資源が循環する社会環境」
⑴　資源循環の推進
○　３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進・・・・・・・・・・・・１２
・１人１日当たりのごみ排出量とごみのリサイクル率の状況
・ごみ排出量の実績
・一般廃棄物の処理状況フロー図
・ごみ処理事業経費の実績
・ごみ処理事業経費の内訳実績
・事業系一般廃棄物減量化計画書による年間発生量の実績
・レジ袋辞退率の実績
・くるりんフード事業の取組実績
・くるりんペーパー事業の取組実績
・リサイクル資源回収活動報奨金交付事業の取組実績
・エコ・ステーションでの回収実績
・生ごみ処理機等購入補助金交付実績
・生ごみ処理機貸与実績
・ごみメールマガジン登録実績
・ごみ分別アプリダウンロード数
○　ごみの適正分別と収集（啓発事業開催実績）・・・・・・・・・・・・・・・・２４
・大型家具等ごみ出し支援事業
・ごみダイエット塾開催実績
・小学校環境学習開催実績

・リサイクルセンター施設見学者数
・夏休み子どもごみ教室開催実績
・ごみ一時集積所設置等事業補助金交付実績
○　不法投棄の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
・不法投棄対応実績
・不法投棄家電のリサイクル処理実績
○　廃棄物の適正処理（一般廃棄物処理施設の処理実績）・・・・・・・・・・・・　２８
・西部クリーンセンター（焼却施設）
・クリーンセンターおおたか（焼却施設）
・死亡獣等焼却処理場（焼却施設）
・津市リサイクルセンター（破砕・選別施設）
・津市一般廃棄物最終処分場（最終処分場）
・白銀環境清掃センター（破砕・選別・埋立施設）
・津市安芸・津衛生センター（し尿処理施設）
・クリーンセンターくもず（し尿処理施設）
・一般廃棄物最終処分量の実績
⑵　新エネルギーの適正な普及
○　新エネルギーの利用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
・太陽光発電システム等補助金の交付実績
・新エネルギー学習会の開催実績
・新エネルギー利用設備等導入実績
・公共施設等への新エネルギー導入実績
・バイオディーゼルフューエル（ＢＤＦ）使用実績
・バイオマス発電施設の整備実績
○　温室効果ガスの削減対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
・エコエコ家族認定状況
・小学校での環境学習講座実施状況
・夏休み子どもエコチャレンジ参加状況
・クールアースデー取組実績
・地球温暖化対策講座開催状況
○　省エネルギー対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
・環境マネジメントシステム推進事業
《環境目標３》「快適で暮らしやすい生活環境」
⑴　衛生的な生活環境の保全
○　空き地・空き家等の適正管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
・管理が不適切な空き地等の所有者への指導実績
○　愛護動物の適正飼養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
・狂犬病予防対策業務実施事業

○　公害の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
・公害苦情等の指導実績
・大気環境調査の実施状況
・水質環境調査の実施状況
・ダイオキシン類測定の実施状況
・工場排水水質分析・農薬等分析・悪臭物質分析の実施状況
・そ族昆虫駆除支援の状況
○　生活排水対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
・生活排水処理アクションプログラムによる取組実績
・浄化槽設置整備事業補助金交付事業
・共同汚水処理施設修繕工事補助金交付事業
⑵　やすらぎを感じる生活空間の形成
○　緑の保全・創出と水辺環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５
・津市緑化基金を活用した記念樹配布等実績
○　良好な景観の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６８
・景観法に基づく届出件数
・デザインや色彩に関する助言件数
・三重県屋外広告物条例による屋外広告物許可申請件数

市民の環境意識の向上
○　環境に対する市民意識の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０
・つ・環境フェスタ開催実績
・市民清掃デー参加者実績
・環境だより発行状況
・こどもエコクラブ登録状況
○　環境学習センターでの取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７４
・講習会開催実績
・講演会・イベント等開催実績
・工房利用実績
・施設利用者数実績

津市環境基本計画実行計画における取組の指標の進捗状況

環境目標	施　策	数値目標項目		令和４年度 目標値	令和９年度 目標値	令和３年度 実績
１ 自然と調和した恵み豊かな環境	⑴自然環境の保全 山と川と海のネットワークの推進	エコサークル登録者数	登録団体数	１０団体	２０団体	４団体
			登録個人数	１５人	３０人	９人
２ 資源が循環する社会環境	⑴資源循環の推進 ３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進	１人１日当たりのごみの排出量		９８４ｇ	９５０ｇ	９９８ｇ
		リサイクル率		２８．０％	３４．０％	２２．１％
		事業系一般廃棄物の年間排出量		２９，４０６ｔ	２５，９８３ｔ	２６，５３０ｔ
	⑵新エネルギーの適正な普及 新エネルギーの利用促進	市内の再生可能エネルギーの発電出力		３９１，６４７Ｋｗ	４５６，９２２Ｋｗ	５０９，９１７Ｋｗ
３ 快適で暮らしやすい生活環境	⑴衛生的な生活環境の保全 空き地・空き家等の適正管理	不適正管理の空き家・空き地件数	特定空き家件数	１１３件	１００件	１２８件
			雑草相談件数	７００件	６２２件	６９４件
	⑵やすらぎを感じる生活空間の形成 緑の保全・創造と水辺環境の保全	市民清掃活動への参加者数（人口に対する割合）		２５．５％	２６．５％	２．２％

《環境目標１》「自然と調和した恵み豊かな環境」の取組実績

(1)　自然環境の保全

○　山と川と海のネットワークの推進

山と川と海のネットワークの取組実績

年　度	事　業　名	参加者数(人)
平成 20 年度	山川海ネットワークの森造成事業	132
	海岸パトロール	20
	浜辺交流事業（美杉南小・香良洲小）	54
平成 21 年度	山川海ネットワークの森下草刈り	41
	雲出川・家城ラインエコウォーク	180
	浜辺学習会	175
平成 22 年度	山川海ネットワークの森交流会	（植　栽）　132
		（木工教室）　41
	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	226
	山川海ネットワークの森下草刈り	52
平成 23 年度	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	193
	山川海ネットワークの森下草刈り	32
	雲出川・家城ラインエコウォーク	78
平成 24 年度	雲出川エコウォーク	54
	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	228
	山川海ネットワークの森下草刈り	20
	雲出川フォーラム	70
	美杉アートづくり教室	23
平成 25 年度	雲出川懇談会	43
	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	250
	山川海ネットワークの森植樹	46
	雲出川フォーラム	40
	雲出川写真展	660
平成 26 年度	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	287
	美杉なあなあエクスカーション (植樹活動＆交流会)	255
平成 27 年度	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	360
	君ヶ野ダム湖畔エコウォーク	30
	山川海ネットワークの森Ⅱ植樹	32

平成 28 年度	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	270
	リバーパーク真見エコウォーク	39
	山川海ネットワークの森Ⅱ植樹	53
平成 29 年度	香良洲海岸清掃活動＆地引網体験	272
	リバーパーク真見エコウォーク	41
平成 30 年度	香良洲海岸清掃活動	110
	リバーパーク真見エコウォーク	27
	環境基礎講座（全５回）	20
令和元年度	香良洲海岸清掃活動	282
	リバーパーク真見エコウォーク	53
	環境基礎講座（全５回）	10
	波瀬地区植樹祭 ※波瀬まちづくり協議会との共催	130
令和２年度	香良洲海岸清掃活動	76
	リバーパーク真見エコウォーク	105
	環境基礎講座（全５回）	21
令和３年度	リバーパーク真見エコウォーク	114
	環境基礎講座（全５回）	24
	環境スキルアップ講座	33

○ 里地・里山・里海の保全

自然体験型学習会の開催実績

年　度	区　　分	場　所	参加人数（人）
平成 20 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	56
	環境月間記念植樹	クリーンセンターおおたか	100
	水生生物調査学習会	細谷川長野小学校付近	23
平成 21 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	69
	環境月間記念植樹	安濃中央総合公園	80
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	17
平成 22 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	71
	環境月間記念植樹	本城山青少年公園	62
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	19
平成 23 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	75
	環境月間記念植樹	榊原ふるさと公園	70
	水生生物調査学習会	美里町川上地内	39
平成 24 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	72
	環境月間記念植樹	安濃中央総合公園	69
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	35
平成 25 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	53
	環境月間記念植樹	香良洲公園	70
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	23
平成 26 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	83
	環境月間記念植樹	西山公園(香良洲町)	97
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	30
	自然観察会	片田田中町地内	9
平成 27 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	76
	環境月間記念植樹	西山公園(香良洲町)	83
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	44
	自然観察会	広明町地内	13
平成 28 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	66
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター付近	93
	水生生物調査学習会	水生生物調査学習会	42
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	15
平成 29 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	76
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター付近	82
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	35
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	3

平成 30 年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	63
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	69
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	41
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	20
令和元年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	37
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	61
	田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	47
	親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	39
	アサギマダラ観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	14
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	21
令和２年度	田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	29
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	22
	親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	25
	アサギマダラ観察会	田中川干潟付近	21
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	15
	野鳥観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	10
令和３年度	ホタル観察会	片田薬王寺町地内	30
	環境月間記念植樹	リサイクルセンター併設自然観察の森	43
	田中川干潟生き物観察会	田中川干潟付近	23
	白塚海岸の清掃と作品作り	白塚海岸	21
	水生生物調査学習会	長野川稲初橋付近	28
	親子昆虫観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	14
	野鳥観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	11
	自然観察会	リサイクルセンター併設自然観察の森	10

⑵　公益的機能の維持増進

○　森林環境の保全

皆伐跡地等への広葉樹植栽取組実績

年　度	面積（ａ）
平成 20 年度	359.1
平成 21 年度	254.1
平成 22 年度	104.0
平成 23 年度	57.0
平成 24 年度	97.0
平成 25 年度	97.0
平成 26 年度	61.0
平成 27 年度	5.0
平成 28 年度	12.5
平成 29 年度	18.5
平成 30 年度	24.2
令和元年度	22.0
令和２年度	0.0
令和３年度	10.0

「企業の森」制度による森づくり取組実績

年　度	企業名簿	事業地域	面積（ha）
平成 20 年度	株式会社百五銀行	白山地域	0.50
平成 21 年度	ＪＡバンク三重	安濃地域	0.41
平成 22 年度	津商工会議所	津地域（御殿場海岸）	1.93
	株式会社百五銀行	美杉地域	0.55
	ＮＴＴ西日本三重支店	白山地域	4.50
平成 23 年度	―	―	―
平成 24 年度	コープみえ	美杉地域	0.25
平成 25 年度	ＪＡバンク三重	美杉地域	0.50
平成 26 年度	セブン-イレブン記念財団	美里地域	1.16
平成 27 年度	―	―	―
平成 28 年度	―	―	―
平成 29 年度	井村屋グループ株式会社	白山地域	5.50
平成 30 年度	―	―	―
令和元年度	―	―	―
令和２年度	―	―	―
令和３年度	―	―	―

※三重県の「企業の森」制度による取組実績より抜粋（取組開始年度を記載）

森林環境創造事業による取組状況

（場所：榊原町・芸濃町・美里町・白山町・美杉町地内）

年　度	間伐（ha）	受光伐（ha）	下刈（ha）	歩道整備（m）
平成 20 年度	119.71	22.82	17.73	500.00
平成 21 年度	133.86	11.69	17.85	1500.00
平成 22 年度	39.95	18.45	11.15	0
平成 23 年度	5.85	62.07	9.53	0
平成 24 年度	101.19	54.99	9.28	0
平成 25 年度	68.25	12.01	9.28	0
平成 26 年度	108.25	4.25	4.02	0
平成 27 年度	44.60	1.50	0	0
平成 28 年度	24.84	0.62	0	0
平成 29 年度	10.59	0.37	0	0
平成 30 年度	11.71	0	0	0
令和元年度	14.61	0	0	0
令和２年度	13.50	0	0	0
令和３年度	22.42	0	0	0

「森林経営計画作成促進」に対する支援状況

年　度	施業内容	面積（ha）
平成 20 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,359.62
平成 21 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,444.06
平成 22 年度	施業実施区域の明確化作業等	1,398.60
平成 23 年度	森林経営計画作成促進等	247.88
平成 24 年度	森林経営計画作成促進等	180.00
平成 25 年度	森林経営計画作成促進等	130.60
平成 26 年度	森林経営計画作成促進等	189.54
平成 27 年度	森林経営計画作成促進等	64.00
平成 28 年度	森林経営計画作成促進等	120.00
平成 29 年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	440.00
平成 30 年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	580.00
令和元年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	400.00
令和２年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	330.06
令和３年度	森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	250.10

⑵　公益的機能の維持増進

森林環境譲与税を活用した取組実績

森林経営管理事業業務委託			
令和元年度	意向調査	区域面積	3,793ha
		筆数	11,569 筆
		所有者数	2,431 人
	現況調査・境界明確化	森林現況調査	81.83ha
		境界明確化	81.83ha
		林地台帳修正	340ha
	森林整備	芸濃町河内地内	21.96ha
令和２年度	意向調査	区域面積	16,460ha
		筆数	33,120 筆
		所有者数	4,884 人
	現況調査・境界明確化	森林現況調査	100.51ha
		境界明確化	100.51ha
		林地台帳修正	416ha
	森林整備	美杉町太郎生地内	17.02ha
		芸濃町河内地内	35.58ha
令和３年度	意向調査	区域面積	5,130ha
		筆数	20,204 筆
		所有者数	4,601 人
	境界明確化	境界明確化	100.58ha
		林地台帳修正	456ha
	森林資源解析	芸濃地域	27 ㎢
	森林整備	美杉町太郎生地内	30.80ha
		芸濃町河内地内	23.08ha

みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した取組実績

	配分	対策区分	事業名	内容	事業費（交付金額）（千円）
令和３年度	基本枠	暮らしに身近な森林づくり	林地残材搬出促進事業	間伐で発生した林地残材をエネルギー利用するため搬出・運搬経費の一部を支援 4,995㎥（6,244ｔ）	28,615 (28,595)
		森を育む人づくり	夏休み森と緑の親子塾	木工体験及び丸太切り体験 開催回数１回　14名	184 (184)
			まるごと林業体験	間伐体験、ポータブルウインチを使用した集材体験及び木工体験 開催回数１回　9名	297 (297)
			美里水源の森「林業体験」事業	シイタケ菌打ちと薪割り体験 開催回数１回　26名	250 (250)
	連携枠	土砂や流木による被害を出さない森林づくり	流域防災機能強化対策事業	環境林・特定水源地域における間伐 美里町平木、美杉町下之川地内　79.67ha	41,015 (41,000)
			森林再生力強化対策事業	新植地等への獣害防止施設の整備に係る支援 5,527m	4,551 (4,551)
	防災枠（基本枠）	暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業	ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採（防災枠1/4、基本枠1/4、ライフライン事業者1/2） 1箇所、535本伐採	11,379 (5,690)
				合　計	86,291 (80,567)

⑵　公益的機能の維持増進

○　農地環境の保全

農地流動化対策事業による取組実績

年　度	認定農業者等担い手への農地集積(ha)
平成 20 年度	83
平成 21 年度	72
平成 22 年度	69
平成 23 年度	74
平成 24 年度	84
平成 25 年度	74
平成 26 年度	57
平成 27 年度	229
平成 28 年度	131
平成 29 年度	120
平成 30 年度	89
令和元年度	77
令和２年度	167
令和３年度	106

農村交流支援事業による取組実績

年　度	農林水産まつり（人）	食彩フェスタｉｎつ（人）
平成 20 年度	約 18,000	約 30,000
平成 21 年度	約 10,000	約 30,000
		津産津消・食の彩典（人）
平成 22 年度	約 10,000	約 30,000
平成 23 年度	約 15,000	約 30,000
平成 24 年度	約 12,000	約 20,000
		津産津消・食の彩発見フェア（人）
平成 25 年度	約 12,000	約 15,000
平成 26 年度	約 15,000	約 22,000
平成 27 年度	約 15,000	開催せず
		津ぶぞろいフェス（人）
平成 28 年度	約 15,000	48 事業者 68 人、関係者約 30 人
平成 29 年度	約 16,000	29 事業者、関係者約 30 人
		津の恵み交流会
平成 30 年度	約 17,000	２事業者、関係者約 100 人
令和元年度	約 14,000	２事業者、関係者約 80 人
令和２年度	開催せず	開催せず
令和３年度	開催せず	開催せず

⑵　公益的機能の維持増進

有害鳥獣による農作物の被害防止対策の取組状況

年　度	有害鳥獣の捕獲			防護柵の設置（m）
	シカ（頭）	サル（頭）	イノシシ（頭）	
平成 20 年度	435	70	181	59,706
平成 21 年度	1,603	63	153	47,394
平成 22 年度	2,536	131	315	61,399
平成 23 年度	2,655	109	173	49,067
平成 24 年度	2,966	130	1,448	43,533
平成 25 年度	3,096	80	786	45,394
平成 26 年度	3,341	77	1,053	29,760
平成 27 年度	4,063	225	1,295	19,369
平成 28 年度	3,731	138	1,266	65,324
平成 29 年度	3,352	192	1,364	51,462
平成 30 年度	3,007	235	1,337	37,151
令和元年度	2,896	266	1,343	26,035
令和２年度	2,504	135	684	31,098
令和３年度	3,390	52	311	26,200

《環境目標２》「資源が循環する社会環境」の取組実績

(1)　資源循環の推進

○　３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

１人１日当たりのごみ排出量とごみのリサイクル率の状況

年　度	１人１日当たりごみ排出量	ごみのリサイクル率
平成 20 年度	1,080ｇ	28.9%
平成 21 年度	1,034ｇ	26.9%
平成 22 年度	994ｇ	23.9%
平成 23 年度	997ｇ	24.2%
平成 24 年度	998ｇ	24.4%
平成 25 年度	1,067ｇ	23.1%
平成 26 年度	1,076ｇ	22.4%
平成 27 年度	1,048ｇ	23.1%
平成 28 年度	1,032ｇ	23.3%
平成 29 年度	1,008ｇ	22.3%
平成 30 年度	1,007ｇ	21.7%
令和元年度	1,023ｇ	22.1%
令和２年度	1,018ｇ	22.9%
令和３年度	998ｇ	22.1%

図１　ごみ排出量の実績

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
家庭系ごみ(t)	85,197	79,657	76,216	75,340	75,753	76,403	76,080	73,199	73,081	72,896	73,459	74,568	75,066	73,438
事業系ごみ(t)	28,708	28,743	27,493	28,658	29,929	33,224	34,140	34,190	31,940	30,452	29,375	29,378	27,621	26,530
合計(t)①	113,905	108,400	103,709	103,998	105,682	109,627	110,220	107,389	105,021	103,348	102,834	103,946	102,687	99,968
総資源化量(t)⑥	32,969	29,183	24,805	25,215	25,781	25,288	24,652	24,794	24,433	23,077	22,267	23,023	23,534	22,114
可燃ごみ(t)	82,935	81,136	79,140	80,438	81,907	84,349	87,123	85,585	85,801	84,342	83,442	84,514	81,948	80,526
最終処分量(t)	10,730	10,325	11,274	9,504	9,514	11,589	10,168	7,410	1,426	1,383	1,386	1,359	1,558	1,570
リサイクル率	28.9%	26.9%	23.9%	24.2%	24.4%	23.1%	22.4%	23.1%	23.3%	22.3%	21.7%	22.1%	22.9%	22.1%

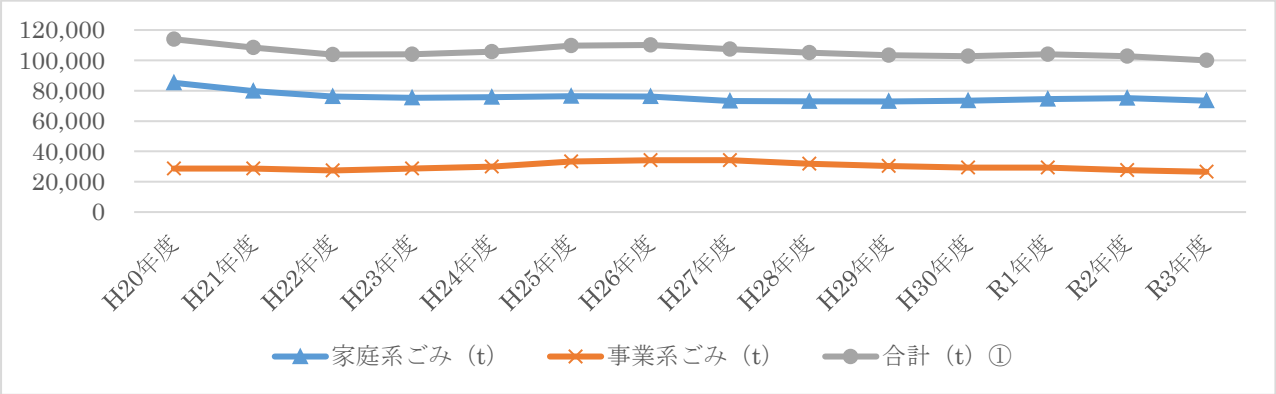
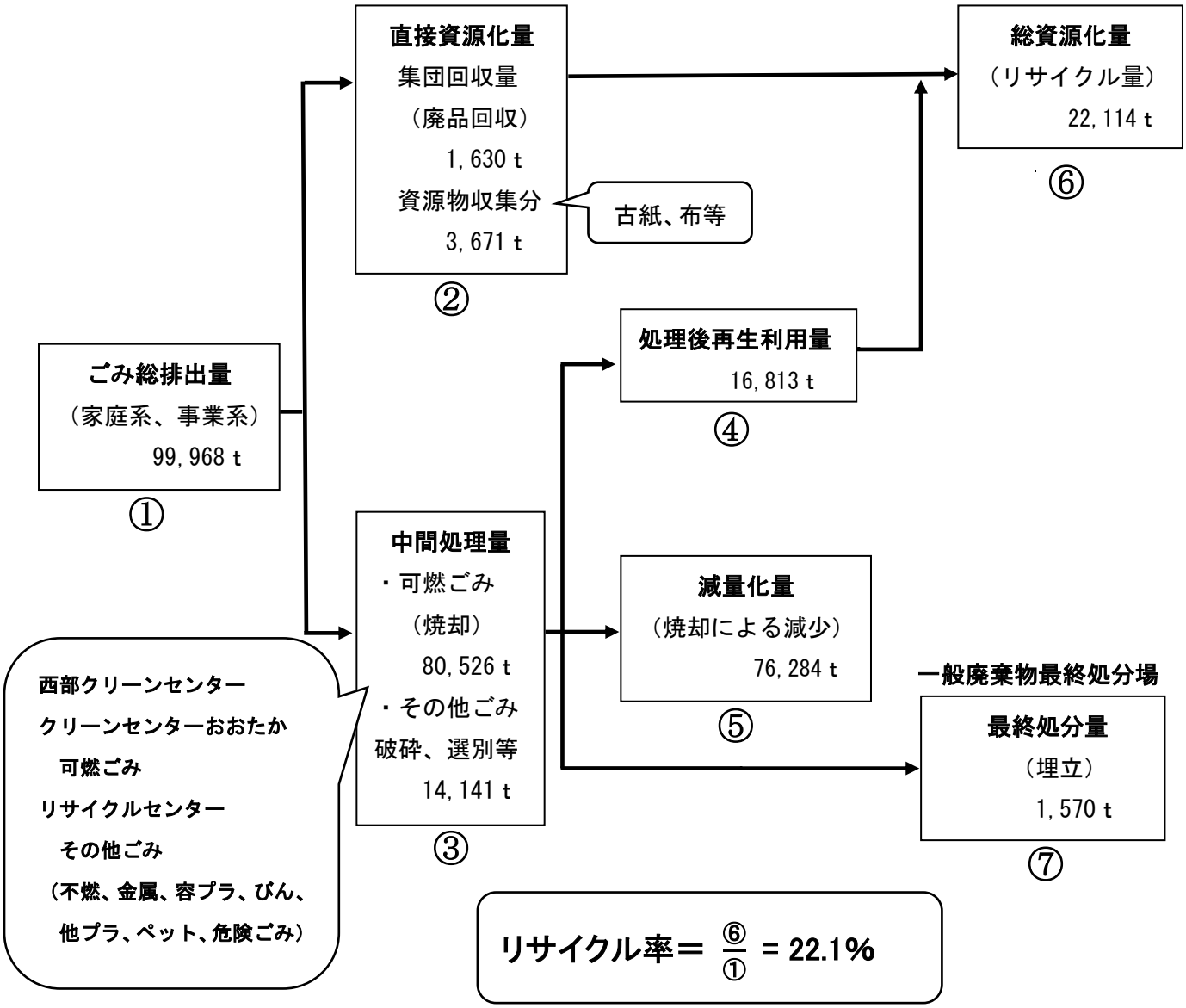


図2 一般廃棄物の処理状況フロー



ごみ処理事業経費の実績

年　度	ごみ処理事業経費（千円）	人口（人）	１人当たり経費（円）	全国平均（円）
平成 20 年度	3,912,696	288,888	13,544	14,247
平成 21 年度	4,278,516	287,352	14,889	14,326
平成 22 年度	4,275,487	285,746	14,963	14,446
平成 23 年度	4,366,331	284,867	15,328	14,081
平成 24 年度	4,512,903	282,904	15,952	13,906
平成 25 年度	5,708,943	281,547	20,277	14,417
平成 26 年度	7,312,536	280,647	26,056	15,200
平成 27 年度	11,267,139	279,886	40,256	15,200
平成 28 年度	4,572,843	278,674	16,409	15,300
平成 29 年度	4,483,178	277,797	16,138	15,500
平成 30 年度	4,517,906	276,660	16,330	16,400
令和元年度	4,581,657	275,105	16,654	16,400
令和２年度	4,475,404	274,537	16,302	16,800
令和３年度	4,665,544	272,753	17,105	集計中

※平成 25～27 年度のごみ処理事業経費については、新最終処分場及び津市リサイクルセンターの建設費が含まれています。人口は三重県公表の推計人口（みえＤａｔａＢｏｘ。

ごみ処理事業経費の内訳実績　H21～H25　（千円）

				平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
建設・改良費	工事費	収集運搬施設		0	0	0	0	0
		中間処理施設		0	0	0	151,203	304,589
		最終処分場		336,531	430,397	222,267	212,477	1,039,576
		その他		0	3,295	0	0	70,298
	調査費			0	0	0	0	0
	小　計			336,531	433,692	222,267	363,680	1,414,463
処理及び維持管理費	人件費	一般職		513,395	532,381	504,039	437,031	423,038
		技能職	収集運搬	732,335	512,065	519,943	520,597	272,099
			中間処理	50,515	66,572	39,147	31,612	19,079
			最終処分	36,903	41,399	44,875	45,644	43,338
	処理費	収集運搬費		74,217	34,684	58,518	58,722	30,827
		中間処理費		612,430	516,802	565,991	340,502	289,668
		最終処分費		193,340	229,830	251,542	207,606	206,242
	車両等購入費			25,284	0	0	0	0
	委託費	収集運搬費		482,627	700,166	1,085,528	1,159,851	1,441,404
		中間処理費		390,380	391,066	434,234	686,234	912,858
		最終処分費		787,303	766,666	566,064	587,627	594,321
		その他		6,641	13,373	38,334	40,622	28,718
	小　計			3,905,370	3,805,004	4,108,215	4,116,048	4,261,592
その他				36,615	36,791	35,849	33,175	32,888
合　計				4,278,516	4,275,487	4,366,331	4,512,903	5,708,943

ごみ処理事業経費の内訳実績　H26～H30　（千円）

				平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
建設・改良費	工事費	収集運搬施設		6,703	46,364	52,724	23,868	7,619
		中間処理施設		1,174,980	3,441,491	0	0	0
		最終処分場		1,461,278	3,319,980	0	0	0
		その他		114,037	0	0	0	0
	調査費			0	0	0	0	0
	小　計			2,756,998	6,807,835	52,724	23,868	7,619
処理及び維持管理費	人件費	一般職		330,209	382,352	284,820	265,096	267,097
		技能職	収集運搬	244,519	246,229	267,828	265,338	276,964
			中間処理	85,199	27,649	30,531	31,126	31,722
			最終処分	86,112	26,344	0	0	0
	処理費	収集運搬費		10,876	16,951	28,841	33,789	37,406
		中間処理費		277,783	241,406	270,219	309,434	355,525
		最終処分費		145,536	123,612	51,880	52,463	49,785
	車両等購入費			0	12,712	0	4,544	9,779
	委託費	収集運搬費		1,578,702	1,651,521	1,678,139	1,705,589	1,721,032
		中間処理費		955,621	930,808	1,553,436	1,446,288	1,416,159
		最終処分費		611,630	514,772	220,676	199,283	206,687
		その他		114,115	157,794	0	0	0
	小　計			4,440,302	4,332,150	4,386,370	4,312,950	4,372,156
その他				115,236	127,154	133,749	146,360	138,131
合　計				7,312,536	11,267,139	4,572,843	4,483,178	4,517,906

(1)　資源循環の推進

ごみ処理事業経費の内訳実績　R1～R3　　（千円）

				令和元年度	令和２年度	令和３年度
建設・改良費	工事費	収集運搬施設		0	1,518	0
		中間処理施設		0	0	0
		最終処分場		38,920	0	0
		その他		0	0	0
	調査費			0	0	0
	小　計			38,920	1,518	0
処理及び維持管理費	人件費	一般職		241,650	251,123	249,569
		技能職	収集運搬	276,737	269,407	263,835
			中間処理	31,253	38,055	48,781
			最終処分	0	0	0
	処理費	収集運搬費		26,298	28,738	26,602
		中間処理費		310,285	271,590	246,214
		最終処分費		62,151	49,381	52,347
	車両等購入費			0	0	0
	委託費	収集運搬費		1,757,216	1,810,413	1,829,757
		中間処理費		1,498,819	1,417,163	1,646,798
		最終処分費		198,028	199,577	167,721
		その他		0	0	0
	小　計			4,402,437	4,335,447	4,531,624
その他				140,300	138,439	133,920
合　計				4,581,657	4,475,404	4,665,544

事業系一般廃棄物減量化計画書による年間発生量の実績

就業人員１人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量（kg）					
年　度	ＯＡ用紙	新聞、雑誌、ダンボール	機密書類	塵芥類紙くず等	合　計
平成 20 年度	29.3	223.5	23.0	183.0	458.8
平成 21 年度	41.5	174.5	25.6	176.6	418.2
平成 22 年度	29.9	217.1	23.5	188.5	459.0
平成 23 年度	24.6	197.0	25.7	208.7	456.0
平成 24 年度	26.4	189.4	41.9	192.7	450.4
平成 25 年度	25.5	190.0	95.5	199.0	510.0
平成 26 年度	35.3	213.4	24.9	216.5	490.1
平成 27 年度	41.5	178.3	43.5	203.6	466.8
平成 28 年度	18.5	145.3	30.9	160.2	354.9
平成 29 年度	16.1	163.6	35.5	176.1	391.3
平成 30 年度	16.0	144.7	29.5	155.4	345.6
令和元年度	17.8	177.7	17.6	177.8	390.9
令和２年度	17.0	193.8	17.1	149.5	377.4
令和３年度※	15.9	152.2	13.9	151.9	333.9

※令和３年度は暫定値

(1) 資源循環の推進

レジ袋辞退率の実績

年　度	レジ袋辞退率
平成 21 年度	89.95%
平成 22 年度	89.90%
平成 23 年度	89.42%
平成 24 年度	89.11%
平成 25 年度	89.24%
平成 26 年度	88.32%
平成 27 年度	89.22%
平成 28 年度	89.37%
平成 29 年度	88.35%
平成 30 年度	88.21%
令和元年度	88.89%
令和２年度	88.96%
令和３年度	87.12%

くるりんフード事業の取組実績

年　度	校数	収集量（kg）	納入堆肥（kg）
平成 20 年度	4	11,548	5,437
平成 21 年度	8	19,336	4,684
平成 22 年度	8	18,684	7,336
平成 23 年度	8	11,877	11,548
平成 24 年度	8	12,300	13,472
平成 25 年度	8	12,880	6,656
平成 26 年度	4	5,573	4,096
平成 27 年度	8	7,179	4,400
平成 28 年度	8	5,770	6,840
平成 29 年度	8	11,562	6,085
平成 30 年度	4	5,462	2,894
令和元年度	8	10,927	5,682
令和２年度	4	4,833	2,153
令和３年度	8	9,259	2,722

くるりんペーパー事業の取組実績

年　度	箇所数	収集量（kg）	納入ﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ（個）
平成 20 年度	10	4,000.0	15,000
平成 21 年度	19	6,150.0	15,500
平成 22 年度	18	10,360.0	16,700
平成 23 年度	66	57,912.7	60,000
平成 24 年度	66	59,612.9	55,600
平成 25 年度	66	61,465.3	56,900
平成 26 年度	64	56,173.5	56,200
平成 27 年度	64	54,627.7	54,600
平成 28 年度	64	51,726.5	51,500
平成 29 年度	62	46,991.5	50,300
平成 30 年度	62	45,422.6	52,800
令和元年度	62	44,150.0	54,000
令和２年度	62	37,440.0	51,700
令和３年度	62	38,450.0	51,000

リサイクル資源回収活動報奨金交付事業の取組実績

年　度	団体数	回収量（ｔ）	金額（円）
平成 20 年度	251	4,246	25,484,520
平成 21 年度	257	3,891	23,343,317
平成 22 年度	272	3,955	23,731,325
平成 23 年度	265	3,919	23,511,709
平成 24 年度	267	3,879	23,270,368
平成 25 年度	264	3,831	22,989,334
平成 26 年度	257	3,622	21,729,241
平成 27 年度	250	3,286	19,714,545
平成 28 年度	259	3,004	18,021,652
平成 29 年度	256	2,871	17,230,081
平成 30 年度	239	2,665	15,989,512
令和元年度	246	2,467	14,804,235
令和２年度	226	1,707	10,242,102
令和３年度	201	1,630	9,777,242

※令和２年度までは登録団体数、令和３年度は活動団体数

エコ・ステーションでの回収実績　　単位（kg）

平成26年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	162,340	180,750	109,910	1,400	99,270	25,630
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	
	40,230	35,800		57,920	19,630	
				合計	732,880	
平成27年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	147,730	181,670	118,530	1,480	104,370	28,950
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	
	44,130	35,950		64,720	22,650	
				合計	750,180	
平成28年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	124,600	140,690	100,570	1,630	97,530	27,220
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	38,420	28,900		51,890	17,390	19,440
				合計	648,280	
平成29年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	112,130	142,800	105,630	1,400	102,990	25,220
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	37,790	27,990		51,950	24,390	23,320
				合計	655,610	
平成30年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	99,290	142,660	103,110	1,450	105,080	17,150
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	39,670	32,910		61,750	26,820	29,170
				合計	659,060	
令和元年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	100,430	169,200	113,890	1,700	142,210	38,700
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	74,120	39,800		98,160	12,690	118,880
				合計	909,780	
令和2年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	102,020	193,930	135,890	1,405	173,380	41,760
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	75,220	39,300		120,860	15,580	150,130
				合計	1,049,475	

令和３年度	新聞	雑誌	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	紙パック	衣類・布類	ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ
	105,580	186,330	140,610	1,460	173,440	33,580
	ビン	容器包装プラ		その他プラ	小型電子機器	金属
	66,060	31,680		108,350	15,290	127,400
				合計	989,780	

生ごみ処理機等購入補助金交付実績

年　度	生ごみ処理機		コンポスト容器	
	基数	金額（円）	基数	金額（円）
平成 20 年度	275	6,501,400	75	168,900
平成 21 年度	155	3,755,000	94	205,400
平成 22 年度	149	3,614,900	50	104,500
平成 23 年度	121	2,966,100	43	99,400
平成 24. 年度	120	2,961,300	33	66,600
平成 25 年度	130	3,186,300	61	116,400
平成 26 年度	102	2,396,100	47	96,400
平成 27 年度	82	1,990,700	44	94,800
平成 28 年度	97	2,327,700	37	79,400
平成 29 年度	71	1,643,200	32	70,600
平成 30 年度	117	2,432,100	32	70,700
令和元年度	75	1,668,400	40	90,300
令和２年度	125	2,310,000	37	84,800
令和３年度	116	2,211,700	66	150,100

生ごみ処理機貸与実績

年度	生ごみ処理機貸与人数（人）
令和３年度	36

ごみメールマガジン登録実績

年　度	登録者数
平成 20 年度	96
平成 21 年度	112
平成 22 年度	118
平成 23 年度	140
平成 24 年度	157
平成 25 年度	191
平成 26 年度	212
平成 27 年度	228
平成 28 年度	190
平成 29 年度	208
平成 30 年度	229
令和元年度	―

市民を対象にごみの分別や減量、ごみ出しのルール等について案内するメールマガジン「ごみ・ぶんべ津＝分ければ資源・混ぜればごみ」を運営し、登録者に対し毎月一回程度、配信しています。

令和２年２月配信停止
ごみ分別アプリへ移行

ごみ分別アプリダウンロード数

年　度	ダウンロード数
令和元年度	6,846
令和２年度	5,987
令和３年度	5,777

○ ごみの適正分別と収集

大型家具等ごみ出し支援事業

年　度	引き取り実施世帯数	引き取り家具等数
平成 30 年度	224 世帯	583 個
令和元年度	533 世帯	1,239 個
令和２年度	388 世帯	935 個
令和３年度	478 世帯	1,196 個

ごみ分別排出マナー啓発事業開催実績

ごみダイエット塾

年　度	ごみダイエット塾（回）
平成 20 年度	11（73）
平成 21 年度	3（27）
平成 22 年度	3（13）
平成 23 年度	1（11）
平成 24 年度	3
平成 25 年度	14
平成 26 年度	12
平成 27 年度	12
平成 28 年度	20
平成 29 年度	14
平成 30 年度	22
令和元年度	14
令和２年度	1
令和３年度	7

（　）内は、ごみナビゲーション

(1) 資源循環の推進

小学校環境学習

年　度	学校数（校）	参加児童数（人）
平成 22 年度	24	1,512
平成 23 年度	24	1,302
平成 24 年度	25	1,414
平成 25 年度	30	1,775
平成 26 年度	39	2,096
平成 27 年度	0	0
平成 28 年度	0	0
平成 29 年度	33	1,750
平成 30 年度	33	1,846
令和元年度	38	1,899
令和２年度	1	11
令和３年度	35	1,705

リサイクルセンター施設見学者数

年　度	団体数	参加人数
平成 28 年度	61	1,945
平成 29 年度	59	1,788
平成 30 年度	47	1,746
令和元年度	44	1,724
令和２年度	24	942
令和３年度	47	1561

夏休み子どもごみ教室

年　度	団体数	場所
平成 23 年度	14 組 37 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 24 年度	15 組 32 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 25 年度	11 組 24 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 26 年度	13 組 30 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 27 年度	14 組 28 名	西部クリーンセンター、白銀環境清掃センター
平成 28 年度	14 組 30 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
平成 29 年度	18 組 39 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
平成 30 年度	17 組 41 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
令和元年度	18 組 42 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
令和２年度	10 組 23 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター
令和３年度	13 組 30 名	西部クリーンセンター、リサイクルセンター

ごみ一時集積所設置等事業補助金交付実績

年　度	件数（件）	金額（円）
平成 20 年度	31	2,319,000
平成 21 年度	31	2,479,000
平成 22 年度	45	3,038,000
平成 23 年度	50	4,351,000
平成 24 年度	53	3,731,000
平成 25 年度	77	5,997,000
平成 26 年度	61	3,300,000
平成 27 年度	68	2,854,000
平成 28 年度	121	5,298,000
平成 29 年度	122	5,375,000
平成 30 年度	165	5,227,000
令和元年度	138	4,838,000
令和２年度	127	5,600,000
令和３年度	173	4,700,000

○ 不法投棄の防止

不法投棄対応実績

年　度	不法投棄対応件数	警告看板設置件数	消火器処理実績		タイヤ処理実績	
			本数	処理経費	本数	処理経費
平成 21 年度	330	359				
平成 22 年度	248	254	62	65,345		
平成 23 年度	234	309	27	28,597		
平成 24 年度	268	329	29	31,197		
平成 25 年度	190	271	47	49,350		
平成 26 年度	201	285	31	33,480		
平成 27 年度	174	193	28	30,240		
平成 28 年度	164	162	28	33,480	296	110,538
平成 29 年度	125	247	21	22,680	340	171,450
平成 30 年度	95	279	28	30,240	181	91,044
令和元年度	96	211	45	49,500	264	148,083
令和２年度	71	185	65	71,260	296	211,310
令和３年度	129	224	66	104,150	294	185,020

不法投棄家電のリサイクル処理実績

年　度	処理台数	内　　訳				処理経費（円）
		テレビ	冷蔵庫	洗濯機	エアコン	
平成 20 年度	568	301	148	103	16	1,800,340
平成 21 年度	799	442	268	82	7	2,701,269
平成 22 年度	446	321	93	25	7	1,370,590
平成 23 年度	470	353	91	20	6	1,427,839
平成 24 年度	434	322	86	24	2	1,281,699
平成 25 年度	397	280	86	27	4	1,230,782
平成 26 年度	256	176	60	18	2	823,128
平成 27 年度	341	204	81	40	16	1,045,294
平成 28 年度	353	267	56	24	6	1,053,692
平成 29 年度	245	162	56	21	6	661,364
平成 30 年度	279	150	82	40	7	824,805
令和元年度	367	160	100	102	5	1,142,909
令和２年度	275	134	80	47	14	839,350
令和３年度	337	188	88	57	4	1,053,960

○ 廃棄物の適正処理 （一般廃棄物処理施設の処理実績）

西部クリーンセンター（焼却施設）

（処理能力１日 240ｔ、120ｔ／炉×2 炉）

年 度	処理対象地域	区 分	搬入量（t）	維持管理費（千円）	1ｔ当たりの処理経費（円）
平成 20 年度	津・芸濃	家庭系ごみ	33,067	867,989	16,443
		事業系ごみ	23,229		
平成 21 年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,950	878,993	17,292
		事業系ごみ	22,186		
平成 22 年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,274	874,641	17,744
		事業系ごみ	21,227		
平成 23 年度	津・芸濃	家庭系ごみ	31,120	816,596	16,573
		事業系ごみ	21,431		
平成 24 年度	津・芸濃	家庭系ごみ	30,905	855,946	15,784
		事業系ごみ	23,324		
平成 25 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	29,892	1,003,867	17,808
		事業系ごみ	26,480		
平成 26 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	30,092	1,015,328	17,828
		事業系ごみ	26,860		
平成 27 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	30,160	986,788	18,421
		事業系ごみ	23,409		
平成 28 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	28,340	994,227	19,119
		事業系ごみ	23,662		
平成 29 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	28,565	892,580	17,353
		事業系ごみ	22,872		
平成 30 年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	28,414	839,465	16,557
		事業系ごみ	22,289		
令和元年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	29,066	907,417	17,885
		事業系ごみ	21,669		
令和２年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	28,028	783,086	16,142
		事業系ごみ	20,483		
令和３年度	津、芸濃河芸	家庭系ごみ	28,287	860,388	18,033
		事業系ごみ	19,424		

クリーンセンターおおたか（焼却施設）

（処理能力１日 195ｔ、97.5ｔ／炉×2 炉）

年　度	処理対象地域	区　分	搬入量（t）	維持管理費（千円）	1ｔ当たりの処理経費（円）
平成 20 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,996	462,256	17,778
		事業系ごみ	8,260		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,444		
		事業系ごみ	2,280		
平成 21 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,581	593,386	20,927
		事業系ごみ	7,934		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,434		
		事業系ごみ	2,160		
平成 22 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,404	517,171	18,457
		事業系ごみ	7,599		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,361		
		事業系ごみ	1,994		
平成 23 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉	家庭系ごみ	16,749	499,335	17,177
		事業系ごみ	7,983		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,255		
		事業系ごみ	2,236		
平成 24 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉	家庭系ごみ	17,075	520,373	15,292
		事業系ごみ	7,922		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,401		
		事業系ごみ	2,631		
平成 25 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	21,291	598,555	15,731
		事業系ごみ	7,768		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,511		
		事業系ごみ	2,480		
平成 26 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	22,429	577,775	14,371
		事業系ごみ	8,573		
	松阪市（嬉野、三雲）	家庭系ごみ	6,638		
		事業系ごみ	2,564		
平成 27 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,447	495,992	14,499
		事業系ごみ	8,762		
平成 28 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,527	495,520	14,661
		事業系ごみ	8,272		

平成 29 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,325	523,906	15,928
		事業系ごみ	7,568		
平成 30 年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,658	553,667	16,912
		事業系ごみ	7,081		
令和元年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	26,079	525,264	15,550
		事業系ごみ	7,700		
令和２年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	26,097	532,920	15,939
		事業系ごみ	7,338		
令和３年度	久居、美里、安濃、香良洲、一志、白山、美杉、津市南部	家庭系ごみ	25,718	555,039	16,915
		事業系ごみ	7,096		

死亡獣等焼却処理場（焼却施設）

道路等で死亡した動物の死骸の焼却処理状況

年　度	処理対象地域	区　分	頭　数	処理経費（千円）
平成 26 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	205	9,992
		30 kg以上（大型）	27	
平成 27 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,176	9,604
		30 kg以上（大型）	130	
平成 28 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,325	10,902
		30 kg以上（大型）	116	
平成 29 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,303	11,293
		30 kg以上（大型）	118	
平成 30 年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,299	11,648
		30 kg以上（大型）	122	
令和元年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,576	11,297
		30 kg以上（大型）	132	
令和２年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,711	9,382
		30 kg以上（大型）	133	
令和３年度	市内全域	30 kg未満（小型）	1,747	9,991
		30 kg以上（大型）	147	

津市リサイクルセンター（破砕・選別施設）

（処理能力１日 89ｔ）

年　度	処理対象地域	搬入量（t）	処理経費（千円）	１ｔ当たりの処理経費(円)
平成 28 年度	市内全域	12,806	380,756	29,732
平成 29 年度	市内全域	12,928	342,733	26,511
平成 30 年度	市内全域	13,674	380,757	27,845
令和元年度	市内全域	13,915	376,302	27,042
令和２年度	市内全域	15,350	374,590	24,403
令和３年度	市内全域	14,141	479,199	33,887

津市一般廃棄物最終処分場（最終処分場）

（処理能力９万㎥）

年　度	処理対象地域	搬入量（t）	処理経費（千円）	１ｔ当たりの処理経費(円)
平成 28 年度	市内全域	1,426	182,275	127,822
平成 29 年度	市内全域	1,384	116,092	83,882
平成 30 年度	市内全域	1,365	128,593	94,207
令和元年度	市内全域	1,358	172,370	126,929
令和２年度	市内全域	1,558	142,642	91,555
令和３年度	市内全域	1,569	111,760	71,230

白銀環境清掃センター（破砕・選別・埋立施設）※平成２８年３月３１日閉鎖

不燃ごみ、資源ごみをリサイクル処理、埋立処分を実施。

年　度	処理対象地域	区　分	搬入量（t）	処理経費（千円）	１ｔ当たりの処理経費(円)
平成 20 年度	市内全域	一般廃棄物	17,685	493,371	27,898
平成 21 年度	市内全域	一般廃棄物	16,995	442,503	26,037
平成 22 年度	市内全域	一般廃棄物	17,353	543,359	31,310
平成 23 年度	市内全域	一般廃棄物	15,707	536,079	34,130
平成 24 年度	市内全域	一般廃棄物	16,083	482,423	29,996
平成 25 年度	市内全域	一般廃棄物	17,024	531,851	31,241
平成 26 年度	市内全域	一般廃棄物	15,733	479,879	30,502
平成 27 年度	市内全域	一般廃棄物	14,986	417,882	27,884

津市安芸・津衛生センター（し尿処理施設）

処理実績　（処理能力 188kl/日）

年　度	処理対象地域	区　分	搬入量 (kl)	処理経費 (千円)	1 kl 当たりの処理経費(円)
平成 20 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	18,067	316,497	5,256
		浄化槽汚泥	42,147		
平成 21 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	20,469	295,265	5,012
		浄化槽汚泥	38,441		
平成 22 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	24,839	376,116	5,929
		浄化槽汚泥	38,600		
平成 23 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	12,790	286,692	4,572
		浄化槽汚泥	49,920		
平成 24 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	10,409	335,555	5,063
		浄化槽汚泥	55,866		
平成 25 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	9,820	330,765	4.984
		浄化槽汚泥	56,540		
平成 26 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	9,292	320,957	4,789
		浄化槽汚泥	57,728		
平成 27 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,896	356,599	5,125
		浄化槽汚泥	60,677		
平成 28 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,677	285,966	4,117
		浄化槽汚泥	60,784		
平成 29 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,815	335,240	4,739
		浄化槽汚泥	61,923		
平成 30 年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	8,239	316,597	4,190
		浄化槽汚泥	67,328		
令和元年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	7,696	281,610	4,102
		浄化槽汚泥	60,950		
令和２年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	7,574	269,736	3,908
		浄化槽汚泥	61,445		
令和３年度	津、河芸、芸濃、美里、安濃	し尿	7,565	346,273	5,045
		浄化槽汚泥	61,068		

クリーンセンターくもず（し尿処理施設）

処理実績　（処理能力　140kl/日）

年度	処理対象地域	区分	搬入量（kl）	処理経費（千円）	1 kl 当たりの処理経費(円)
平成 20 年度	久居、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	9,240	331,248	9,997
		浄化槽汚泥	19,681		
	松阪市（嬉野）	し尿	2,285		
		浄化槽汚泥	1,930		
平成 21 年度	久居、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	8,073	299,209	10,071
		浄化槽汚泥	18,125		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,916		
		浄化槽汚泥	1,596		
平成 22 年度	久居、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	7,627	292,864	10,071
		浄化槽汚泥	18,106		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,676		
		浄化槽汚泥	1,672		
平成 23 年度	久居、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	7,628	265,819	9,453
		浄化槽汚泥	17,568		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,507		
		浄化槽汚泥	1,418		
平成 24 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	6,928	391,732	13,948
		浄化槽汚泥	18,235		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,274		
		浄化槽汚泥	1,648		
平成 25 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	6,749	273,407	9,881
		浄化槽汚泥	18,359		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,143		
		浄化槽汚泥	1,418		
平成 26 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	6,380	265,405	9,534
		浄化槽汚泥	19,061		
	松阪市（嬉野）	し尿	1,043		
		浄化槽汚泥	1,355		
平成 27 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	6,138	295,510	10,518
		浄化槽汚泥	21,955		
平成 28 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,598	305,922	11,448
		浄化槽汚泥	21,125		
平成 29 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,437	437,730	15,724
		浄化槽汚泥	22,401		

平成 30 年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	5,162	270,697	9,539
		浄化槽汚泥	23,215		
令和元年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	4,983	244,426	8,740
		浄化槽汚泥	22,982		
令和２年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	4,671	244,416	8,702
		浄化槽汚泥	23,416		
令和３年度	津、久居、美里、香良洲、一志、白山、美杉	し尿	4,674	246,537	8,438
		浄化槽汚泥	24,545		

一般廃棄物最終処分量の実績

年　度	一般廃棄物最終処分量 (t)
平成 20 年度	10,730
平成 21 年度	10,325
平成 22 年度	11,274
平成 23 年度	9,504
平成 24 年度	9,514
平成 25 年度	11,589
平成 26 年度	10,168
平成 27 年度	7,410
平成 28 年度	1,426
平成 29 年度	1,384
平成 30 年度	1,365
令和元年度	1,358
令和２年度	1,558
令和３年度	1,569

⑵　新エネルギーの適正な普及

○　新エネルギーの利用促進

太陽光発電システム等補助金の交付実績

年　度		太陽光発電システム
平成 20 年度	件数	100
	金額	12,000,000
平成 21 年度	件数	287
	金額	17,220,000
平成 22 年度	件数	556
	金額	33,360,000

年　度		太陽光発電システム				エネファーム	合　計
		個人住宅	共同住宅	事業所	集会所	個人住宅	
平成 23 年度	件数	891	26	5	0		922
	金額	55,050,000	2,520,000	310,000	0		57,880,000
平成 24 年度	件数	214	21	8	1		244
	金額	21,400,000	2,060,000	520,000	420,000		24,400,000
平成 25 年度	件数	219	4	2	2		227
	金額	21,900,000	320,000	200,000	1,400,000		23,820,000
平成 26 年度	件数	203	3	0	0		206
	金額	20,300,000	260,000	0	0		20,560,000
平成 27 年度	件数	170	1	4	0		175
	金額	17,000,000	100,000	360,000	0		17,460,000
平成 28 年度	件数	146	0	3	0		149
	金額	14,600,000	0	300,000	0		14,900,000
平成 29 年度	件数	150	0	3※	0		153
	金額	15,000,000	0	150,000※	0		15,150,000
平成 30 年度	件数	125	0	0	0	133	246
	金額	7,500,000	0	0	0	7,980,000	15,480,000
令和元年度	件数	88	0	0	0	161	249
	金額	5,280,000	0	0	0	9,660,000	14,940,000
令和２年度	件数	91	0	0	0	157	248
	金額	5,460,000	0	0	0	9,420,000	14,880,000
令和３年度	件数	95	1	3	0	141	240
	金額	5,700,000	60,000	180,000	0	8,460,000	14,400,000

※　小型風力発電システム 2 件 120,000 円を含む

新エネルギー学習会の開催実績

年　度	学　習　内　容	参加者数
平成 20 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	41
平成 21 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	43
平成 22 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・榊原風力発電施設見学	32
平成 23 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験	21
平成 24 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験	22
平成 25 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 スマートキャンパス実証事業施設見学	27
平成 26 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 メガソーラー発電施設見学	20
平成 27 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 メガソーラー発電施設見学	32
平成 28 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験・リサイクルセンター見学・ 環境学習センターにて温暖化対策ワークショップ	24
平成 29 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 新青山高原風力発電所（風のめぐみの館見学）	24
平成 30 年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 いちご津 ECO 発電所見学・環境学習センターで AWF 説明会	29
令和元年度	三重大学で勉強会・工作・風洞実験 新青山高原風力発電所（風のめぐみの館見学）	26
令和２年度	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	－
令和３年度	津市環境学習センターで勉強会・工作教室 新青山高原風力発電所（風のめぐみの館）見学	21

⑵　新エネルギーの適正な普及

新エネルギー利用設備等導入実績

年　度	新エネルギー設備の導入量	
	風力発電	太陽光発電
平成 20 年度	25,000kW	4,685kW
平成 21 年度	33,000kW	5,595kW
平成 22 年度	47,000kW	8,800kW
平成 23 年度	47,000kW	13,400kW
平成 24 年度	47,000kW	19,400kW
平成 25 年度	47,000kW	53,500kW
平成 26 年度	47,000kW	77,400kW
平成 27 年度	47,000kW	167,500kW
平成 28 年度	63,000kW	196,800kW
平成 29 年度	63,000KW	227,800KW
平成 30 年度	63,000KW	293,336KW
令和元年度	63,020KW	304,858KW
令和２年度	63,020kW	383,578kW
令和３年度	63,020kW	424,169kW

公共施設等への新エネルギー導入実績

年　度	種　別	太陽光発電	小型風力発電
平成 20 年度	設置	1	—
平成 21 年度	設置	0	—
平成 22 年度	設置	4	—
平成 23 年度	設置	2	—
平成 24 年度	設置	2	—
平成 25 年度	設置	4	—
平成 26 年度	設置	2	—
平成 27 年度	設置	6	1
平成 28 年度	設置	0	―
平成 29 年度	設置	3	―
平成 30 年度	設置	1	―
令和元年度	設置	3	―
令和２年度	設置	2	―
令和３年度	発電設備の新規設置なし		

バイオディーゼルフューエル（ＢＤＦ）使用実績

年　度	BDF 燃料（使用量）
平成 21 年度	3,600 ℓ
平成 22 年度	3,200 ℓ
平成 23 年度	12,400 ℓ
平成 24 年度	26,900 ℓ
平成 25 年度	20,500 ℓ
平成 26 年度	21,700 ℓ
平成 27 年度	21,800 ℓ
平成 28 年度	19,000 ℓ
平成 29 年度	17,800 ℓ
平成 30 年度	17,600 ℓ
令和元年度	14,200 ℓ
令和２年度	16,600 ℓ
令和３年度	17,200 ℓ

（令和３年度環境事業課塵芥車６台、南工事事務所塵芥車１台）

※令和３年４月に北工事事務所から南工事事務所へ移管

バイオマス発電施設の整備実績

発電開始	平成 28 年 7 月
発電出力	約 20,000 kW
世帯換算	約 4 万 5 千世帯分

⑵　新エネルギーの適正な普及

○　温室効果ガスの削減対策の推進

エコエコ家族認定状況

年　度	エコエコ家族の認定件数（世帯）	累計（世帯）
平成 20 年度	51	235
平成 21 年度	74	309
平成 22 年度	189	498
平成 23 年度	73	571
平成 24 年度	85	656
平成 25 年度	3	659
平成 26 年度	8	667
平成 27 年度	10	677
平成 28 年度	9	686
平成 29 年度	0	686
平成 30 年度	2	688
令和元年度	0	688
令和２年度	3	691
令和３年度	1	692

小学校での環境学習講座実施状況

年　度	件数（校数）	人　数（人）
平成 20 年度	11	532
平成 21 年度	12	550
平成 22 年度	12	605
平成 23 年度	7	219
平成 24 年度	4	223
平成 25 年度	7	296
平成 26 年度	5	444
平成 27 年度	0	0
平成 28 年度	2	146
平成 29 年度	1	30
平成 30 年度	1	52
令和元年度	0	0
令和２年度	1	35
令和３年度	2	69

夏休み子どもエコチャレンジ参加状況

年　度	学校数	人数（人）
平成 25 年度	41 校	1,569
平成 26 年度	44 校	1,835
平成 27 年度	44 校	2,431
平成 28 年度	40 校	1,584
平成 29 年度	48 校	1,892
平成 30 年度	46 校	1,923
令和元年度	42 校	2,055
令和２年度	46 校	2,379
令和３年度	46 校	2,427

クールアースデー（一斉消灯）

津市本庁舎での取組実績（クールアースデー、夏至・冬至のライトダウンを実施）

年　度	回数	実　施　日
平成 20 年度	1	7 月 7 日
平成 21 年度	1	7 月 7 日
平成 22 年度	2	7 月 7 日、12 月 21 日
平成 23 年度	5	6 月 22 日、7 月 7 日、27 日、8 月 24 日、12 月 22 日
平成 24 年度	4	6 月 21 日、7 月 6 日、7 日、12 月 21 日
平成 25 年度	5	6 月 21 日、7 月 7 日、8 日、12 月 20 日、22 日
平成 26 年度	4	6 月 20 日、21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 27 年度	3	6 月 22 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 28 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 21 日
平成 29 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
平成 30 年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日
令和元年度	5	6 月 22 日、7 月 7 日、17 日、8 月 21 日、12 月 22 日
令和２年度	4	7 月 7 日、7 月 15 日、8 月 19 日、12 月 21 日
令和３年度	3	6 月 21 日、7 月 7 日、12 月 22 日

地球温暖化対策講座

家庭でできる温暖化対策講座の開催状況

年　度	開催回数	受講者数
平成 20 年度	3	253
平成 21 年度	7	296
平成 22 年度	18	999
平成 23 年度	7	384
平成 24 年度	3	179
平成 25 年度	5	86
平成 26 年度	9	536
平成 27 年度	5	103
平成 28 年度	6	88
平成 29 年度	5	88
平成 30 年度	5	102
令和元年度	6	105
令和２年度	2	21
令和３年度	7	52

○　省エネルギー対策の推進

環境マネジメントシステム推進事業

内部環境監査員の養成状況

年　度	内部環境監査員の養成（人）
平成 20 年度	10
平成 21 年度	9
平成 22 年度	17
平成 23 年度	22
平成 24 年度	0
平成 25 年度	22
平成 26 年度	18
平成 27 年度	24
平成 28 年度	21
平成 29 年度	21
平成 30 年度	18
令和元年度	23
令和２年度	25
令和３年度	30

《環境目標３》「快適で暮らしやすい生活環境」の取組実績

(1)　衛生的な生活環境の保全

○　空き地・空き家等の適正管理

管理が不適切な空き地等の所有者への指導実績

年　度	件　数
平成 20 年度	274
平成 21 年度	233
平成 22 年度	273
平成 23 年度	278
平成 24 年度	324
平成 25 年度	333
平成 26 年度	409
平成 27 年度	513
平成 28 年度	869
平成 29 年度	778
平成 30 年度	592
令和元年度	645
令和２年度	728
令和３年度	694

○　愛護動物の適正飼養

狂犬病予防対策業務実施事業

狂犬病予防法等に基づく、犬登録鑑札、狂犬病予防注射済票の交付等実績

	犬登録鑑札交付件数	狂犬病予防注射済票交付件数	犬鑑札再交付件数	狂犬病予防注射済票再交付件数
平成 20 年度	1,547	15,046	27	0
平成 21 年度	1,586	15,125	29	2
平成 22 年度	1,566	15,075	30	0
平成 23 年度	1,366	14,726	28	1
平成 24 年度	1,234	14,472	33	2
平成 25 年度	1,305	14,205	35	2
平成 26 年度	1,246	13,610	38	5
平成 27 年度	1,248	13,431	32	3
平成 28 年度	1,215	13,102	30	1
平成 29 年度	1,291	13,042	48	4
平成 30 年度	1,331	12,753	35	6
令和元年度	1,338	12,642	34	4
令和２年度	1,377	12,396	57	6
令和３年度	1,447	12,232	51	11

○ 公害の防止

大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、
振動、地盤沈下、悪臭等の苦情に係る指導実績

年　度	件　数
平成 20 年度	203
平成 21 年度	208
平成 22 年度	166
平成 23 年度	163
平成 24 年度	147
平成 25 年度	120
平成 26 年度	106
平成 27 年度	94
平成 28 年度	108
平成 29 年度	93
平成 30 年度	98
令和元年度	98
令和２年度	156
令和３年度	122

大気環境調査の実施状況

年　度	調査箇所	調査回数
平成 20 年度	24	12
平成 21 年度	24	12
平成 22 年度	24	12
平成 23 年度	24	12
平成 24 年度	24	12
平成 25 年度	24	12
平成 26 年度	24	12
平成 27 年度	24	12
平成 28 年度	24	12
平成 29 年度	24	12
平成 30 年度	24	12
令和元年度	24	12
令和２年度	24	12
令和３年度	24	12

降下ばいじん量の経年変化（平成 28 年度～令和2年度）　（単位:t/km²/月）

測定場所	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値
津市役所	1.8	2.9	2.7	2.3	5.2
中消防署	1.0	2.6	2.3	1.7	2.7
雲出小学校	1.5	2.6	2.1	2.1	2.5
育生小学校	1.3	2.5	1.8	2.1	2.6
こころの医療センター	1.1	2.1	2.3	1.9	3.4
新町小学校	1.1	2.5	2.0	1.8	3.6
津東高等学校	0.9	1.9	2.6	2.0	2.4
高野尾小学校	1.9	2.7	2.3	1.8	2.9
白塚小学校	1.1	2.0	2.2	1.5	2.5
三重短期大学	1.5	2.9	2.7	2.4	3.4
長谷山市民館	1.0	2.4	2.4	2.0	3.4
片田浄水場	0.9	1.9	2.2	1.9	3.0
泉ヶ丘団地	2.3	3.3	2.5	2.1	4.9
栗葉小学校	2.0	2.9	2.0	2.8	3.9
成美小学校	1.4	2.5	2.1	2.7	3.7
桃園小学校	1.8	2.8	2.5	2.0	4.8
上野小学校	1.2	2.2	2.5	2.1	3.4
芸濃総合支所	1.4	2.2	2.0	1.9	4.1
美里総合支所	0.8	1.9	2.3	1.7	3.0
安濃総合支所	1.0	2.3	1.8	2.2	3.5
香良洲総合支所	1.0	1.9	2.0	2.4	3.0
一志総合支所	0.9	1.7	1.7	2.2	3.2
白山保健福祉センター	1.5	2.1	2.1	2.4	3.8
美杉総合支所	1.1	2.0	2.2	1.9	2.7
平均値	1.3	2.4	2.2	2.1	3.4

降下ばいじん量の経年変化（令和3年度）（単位：t/km²/月）

測定場所	令和３年度
	平均値
津市役所	2.1
中消防署	3.1
雲出小学校	2.3
育生小学校	2.5
こころの医療センター	1.9
新町小学校	3.1
津東高等学校	2.0
高野尾小学校	2.6
白塚小学校	2.0
三重短期大学	2.7
長谷山市民館	2.6
片田浄水場	2.7
泉ヶ丘団地	2.6
栗葉小学校	3.0
成美小学校	2.4
桃園小学校	2.7
上野小学校	2.4
芸濃総合支所	3.3
美里総合支所	2.0
安濃総合支所	3.0
香良洲総合支所	2.4
一志総合支所	2.1
白山保健福祉センター	3.3
美杉総合支所	2.0
平均値	2.5

二酸化窒素の経年変化（平成 28 年度～令和2年度）　（単位：μg･NO_2/100cm^2/day）

測定場所	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値
津市役所	25	21	18	16	15
中消防署	22	22	17	13	13
雲出小学校	18	16	17	14	16
育生小学校	20	18	20	18	21
こころの医療センター	15	13	14	11	13
新町小学校	13	13	14	12	15
津東高等学校	12	11	11	10	12
高野尾小学校	17	16	16	13	14
白塚小学校	20	19	18	16	18
三重短期大学	21	21	23	20	24
長谷山市民館	7.2	6.8	6.9	5.5	6.9
片田浄水場	8.4	8.1	8.0	8.1	7.6
泉ヶ丘団地	13	12	11	9.2	9.7
栗葉小学校	8.1	6.9	7.0	5.9	7.2
成美小学校	17	15	15	13	16
桃園小学校	11	11	11	10	10
上野小学校	17	17	17	15	18
芸濃総合支所	16	15	15	12	12
美里総合支所	6.9	5.7	6.0	5.0	6.6
安濃総合支所	8.6	8.0	7.6	6.4	8.4
香良洲総合支所	15	14	13	11	13
一志総合支所	11	10	9.6	7.8	11
白山保健福祉センター	10	8.6	8.7	7.4	8.4
美杉総合支所	5.1	4.6	5.3	4.6	4.6

二酸化窒素の経年変化（令和3年度）（単位：μg･NO_2/100cm^2/day）

測定場所	令和３年度
	平均値
津市役所	16
中消防署	9.8
雲出小学校	13
育生小学校	17
こころの医療センター	11
新町小学校	11
津東高等学校	8.8
高野尾小学校	11
白塚小学校	14
三重短期大学	22
長谷山市民館	4.9
片田浄水場	6.3
泉ヶ丘団地	7.9
栗葉小学校	5.4
成美小学校	12
桃園小学校	7.6
上野小学校	15
芸濃総合支所	9.6
美里総合支所	6.3
安濃総合支所	7.2
香良洲総合支所	7.9
一志総合支所	8.4
白山保健福祉センター	7.1
美杉総合支所	4.1

水質環境調査の実施状況

河川及び海域における水質環境調査　実施状況

場所	河川		海域	
	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数
平成 20 年度	22	12	8	4
平成 21 年度	22	12	8	4
平成 22 年度	22	12	8	4
平成 23 年度	22	12	8	4
平成 24 年度	22	12	8	4
平成 25 年度	22	12	8	4
平成 26 年度	22	12	8	4
平成 27 年度	22	12	8	4
平成 28 年度	22	12	8	4
平成 29 年度	22	12	8	4
平成 30 年度	22	12	8	4
令和元年度	22	12	8	4
令和２年度	22	12	8	4
令和３年度	22	12	8	4

河川(BOD)測定データ　（平成 28 年度～令和2年度）　（単位：mg/L）

河川名	採水場所	類型	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	環境基準
			BOD 75%値	BOD 75%値	BOD 75%値	BOD 75%値	BOD 75%値	
中ノ川	中ノ川橋	B	1.1	1.9	1.2	1.4	2.0	3
田中川	新三行橋	－	1.1	1.6	1.4	1.3	1.2	－
田中川	汐見橋	－	2.2	3.5	2.2	1.9	3.1	－
美濃屋川	美濃屋橋	－	5.5	4.9	4.2	5.9	5.3	－
安濃川	安濃橋	A	1.2	1.4	0.7	1.2	1.0	2
穴倉川	神社橋	－	1.4	1.8	1.0	1.4	1.4	－
岩田川	五五六橋	B	2.3	2.3	2.2	3.2	2.8	3
相川	新相川橋	－	1.4	1.6	1.4	1.6	1.7	－
天神川	東天神橋	－	2.0	2.5	2.1	2.1	2.4	－
長野川	一峯橋	A	0.9	1.5	0.7	1.0	0.8	2
榊原川	中村橋	－	1.3	1.8	0.9	1.1	1.2	－
蛇川	西浦橋	－	4.8	5.2	7.4	6.3	4.4	－
垣内川	算所橋	－	0.8	1.6	0.6	0.7	0.9	－
山田野川	八幡橋	－	1.1	1.5	0.8	1.0	0.9	－
大村川	沖広橋	－	1.0	1.6	0.7	1.0	1.0	－
三ヶ野川	青野橋	－	1.6	2.6	4.1	5.2	6.2	－
弁天川	坂本橋	－	1.5	1.9	1.5	2.3	2.4	－
波瀬川	八太橋	－	1.9	2.0	1.1	1.3	2.9	－
雲出川	須渕橋	AA	0.7	0.8	0.7	0.9	0.8	1
雲出川	赤岩橋	A	1.2	1.1	0.9	0.9	1.0	2
名張川	美杉御杖大橋	A	0.7	1.3	0.6	0.9	1.0	2
名張川	飯垣内橋	A	0.9	1.3	0.8	1.1	1.0	2

河川(BOD)測定データ　（令和3年度）（単位：mg/L）

河川名	採水場所	類型	令和３年度 BOD 75%値	環境基準
中ノ川	中ノ川橋	B	1.7	3
田中川	新三行橋	－	1.7	－
田中川	汐見橋	－	4.4	－
美濃屋川	美濃屋橋	－	3.0	－
安濃川	安濃橋	A	1.4	2
穴倉川	神社橋	－	1.7	－
岩田川	五五六橋	B	3.1	3
相川	新相川橋	－	1.8	－
天神川	東天神橋	－	1.4	－
長野川	一峯橋	A	1.1	2
榊原川	中村橋	－	1.4	－
蛇川	西浦橋	－	10	－
垣内川	算所橋	－	1.0	－
山田野川	八幡橋	－	1.0	－
大村川	沖広橋	－	1.4	－
三ヶ野川	青野橋	－	8.7	－
弁天川	坂本橋	－	2.4	－
波瀬川	八太橋	－	1.9	－
雲出川	須渕橋	AA	1.0	1
雲出川	赤岩橋	A	1.3	2
名張川	美杉御杖大橋	A	0.9	2
名張川	飯垣内橋	A	1.2	2

河川(大腸菌群数) 測定データ (平成 28 年度～令和2年度) (単位：MPN/100mL)

河川名	採水場所	類型	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	環境基準
中ノ川	中ノ川橋	B	6.5E+02	2.3E+03	1.7E+03	2.9E+03	2.4E+03	5,000
田中川	新三行橋	-	8.9E+02	4.7E+02	6.3E+03	1.9E+04	4.8E+03	-
田中川	汐見橋	-	1.9E+04	2.4E+03	5.4E+04	2.5E+04	6.1E+04	-
美濃屋川	美濃屋橋	-	3.1E+04	6.1E+03	2.9E+04	2.6E+04	4.3E+04	-
安濃川	安濃橋	A	3.7E+02	6.1E+02	1.6E+03	2.1E+03	3.2E+03	1,000
穴倉川	神社橋	-	2.6E+03	3.4E+03	8.3E+03	2.8E+04	6.1E+03	-
岩田川	五五六橋	B	1.1E+04	4.6E+03	2.4E+04	2.4E+04	4.7E+04	5,000
相川	新相川橋	-	3.8E+03	2.7E+03	1.8E+04	1.1E+04	1.5E+05	-
天神川	東天神橋	-	1.6E+04	1.5E+03	2.8E+04	6.0E+04	1.8E+05	-
長野川	一峯橋	A	8.9E+02	1.8E+02	3.0E+03	7.7E+03	2.3E+03	1,000
榊原川	中村橋	-	6.1E+03	4.6E+02	1.2E+04	5.9E+03	9.2E+03	-
蛇川	西浦橋	-	1.5E+06	1.1E+04	8.0E+05	2.9E+06	1.4E+06	-
垣内川	算所橋	-	5.6E+03	2.1E+03	2.0E+04	4.9E+03	6.3E+03	-
山田野川	八幡橋	-	4.9E+03	1.3E+03	6.1E+03	3.8E+04	7.7E+03	-
大村川	沖広橋	-	2.9E+03	7.8E+02	8.9E+03	7.0E+03	1.2E+04	-
三ヶ野川	青野橋	-	2.0E+03	3.8E+02	4.8E+03	1.3E+04	7.8E+03	-
弁天川	坂本橋	-	4.7E+03	1.5E+03	2.1E+04	7.7E+03	1.2E+04	-
波瀬川	八太橋	-	1.9E+03	4.5E+02	4.0E+03	3.5E+03	2.6E+03	-
雲出川	須渕橋	AA	3.7E+02	1.9E+02	4.5E+02	8.0E+02	6.3E+02	50
雲出川	赤岩橋	A	1.8E+03	2.4E+02	2.4E+03	4.4E+03	2.7E+03	1,000
名張川	美杉御杖大橋	A	2.4E+02	1.7E+02	1.1E+03	6.4E+02	5.0E+02	1,000
名張川	飯垣内橋	A	3.1E+02	1.5E+02	7.1E+02	1.2E+03	7.6E+02	1,000

河川(大腸菌群数) 測定データ (令和3年度)(単位:MPN/100mL)

河川名	採水場所	類型	令和３年度	環境基準
中ノ川	中ノ川橋	B	3.9E+03	5,000
田中川	新三行橋	-	1.8E+04	-
田中川	汐見橋	-	1.7E+05	-
美濃屋川	美濃屋橋	-	5.0E+04	-
安濃川	安濃橋	A	8.7E+03	1,000
穴倉川	神社橋	-	9.5E+03	-
岩田川	五五六橋	B	3.8E+04	5,000
相川	新相川橋	-	1.1E+04	-
天神川	東天神橋	-	2.8E+04	-
長野川	一峯橋	A	3.3E+03	1,000
榊原川	中村橋	-	8.7E+03	-
蛇川	西浦橋	-	8.5E+05	-
垣内川	算所橋	-	8.1E+03	-
山田野川	八幡橋	-	5.8E+03	-
大村川	沖広橋	-	1.3E+04	-
三ヶ野川	青野橋	-	5.6E+03	-
弁天川	坂本橋	-	1.5E+04	-
波瀬川	八太橋	-	4.1E+03	-
雲出川	須渕橋	AA	1.1E+03	50
雲出川	赤岩橋	A	2.9E+03	1,000
名張川	美杉御杖大橋	A	1.5E+03	1,000
名張川	飯垣内橋	A	4.8E+02	1,000

(1) 衛生的な生活環境の保全

海域（COD） 測定データ （平成 28 年度～令和2年度） （単位：mg/L）

採水場所	類型	平成 28 年度 COD 75%値	平成 29 年度 COD 75%値	平成 30 年度 COD 75%値	令和元 年度 COD 75%値	令和2 年度 COD 75%値	環境基準
マリーナ河芸前千里海岸	B	3.6	2.2	2.7	4.1	2.4	3
白塚海岸	B	3.1	2.0	2.7	3.5	2.3	
安濃川河口	B	3.3	2.8	2.8	3.3	2.2	
岩田川河口	B	2.9	3.0	3.2	3.5	2.3	
御殿場海岸	B	3.3	3.4	2.7	3.0	3.1	
JMU 造船ドック先	B	2.8	2.8	2.8	2.9	2.5	
雲出古川河口	B	2.9	2.5	2.5	2.9	2.4	
雲出川河口	B	2.9	3.1	2.4	3.0	2.5	

海域（COD） 測定データ （令和3年度）（単位：mg/L）

採水場所	類型	令和3 年度 COD 75%値	環境基準
マリーナ河芸前千里海岸	B	2.4	3
白塚海岸	B	2.6	
安濃川河口	B	2.2	
岩田川河口	B	2.2	
御殿場海岸	B	2.4	
JMU 造船ドック先	B	2.7	
雲出古川河口	B	2.6	
雲出川河口	B	2.7	

海 域(全窒素及び全燐) 測定データ (平成 28 年度～令和2年度) (単位：mg/L)

採水場所	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和２年度		環境基準
	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	
マリーナ河芸前千里海岸	0.23	0.051	0.20	0.029	0.22	0.037	0.35	0.036	0.41	0.050	全窒素 0.3 全燐 0.03
白塚海岸	0.15	0.049	0.17	0.022	0.23	0.048	0.29	0.062	0.37	0.050	
安濃川河口	0.12	0.065	0.25	0.030	0.28	0.064	0.24	0.062	0.39	0.091	
岩田川河口	0.14	0.075	0.17	0.019	0.11	0.051	0.30	0.054	0.35	0.063	
御殿場海岸	0.15	0.063	0.20	0.018	0.18	0.054	0.24	0.057	0.35	0.066	
ＪMU 造船ドック先	0.14	0.059	0.21	0.023	0.23	0.037	0.28	0.042	0.34	0.040	
雲出古川河口	0.12	0.064	0.19	0.020	0.13	0.066	0.23	0.048	0.40	0.056	
雲出川河口	0.12	0.057	0.17	0.013	0.13	0.049	0.22	0.051	0.32	0.049	

海 域(全窒素及び全燐) 測定データ (令和3年度) (単位：mg/L)

採水場所	令和３年度		環境基準
	全窒素	全燐	
マリーナ河芸前千里海岸	0.24	0.050	全窒素 0.3 全燐 0.03
白塚海岸	0.25	0.056	
安濃川河口	0.27	0.065	
岩田川河口	0.38	0.072	
御殿場海岸	0.35	0.062	
ＪMU 造船ドック先	0.32	0.071	
雲出古川河口	0.25	0.062	
雲出川河口	0.27	0.063	

ダイオキシン類測定の実施状況

ダイオキシン類の調査測定実施状況

	大気		水質		土壌	
	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数	調査箇所数	調査回数
平成 20 年度	11	1～2	8	1～2	2	1
平成 21 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 22 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 23 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 24 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 25 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 26 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 27 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 28 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 29 年度	11	1～2	8	2	2	1
平成 30 年度	11	1～2	8	2	2	1
令和元年度	11	1～2	8	1～2	2	1
令和２年度	11	1～2	7	2	2	1
令和３年度	11	1～2	8	2	2	1

ダイオキシン類(大気環境)測定データ　(平成 28 年度～令和2年度) (単位:pg-TEQ/m^3)

測定場所	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	環境基準
	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	年平均値	
長谷山市民館	0.0081	0.0094	0.0086	0.0053	0.0071	0.6 以下
榊原上教育集会所	0.0097	0.0066	0.0044	0.0036	0.0037	
上野小学校	0.0042	0.0074	0.0084	0.0053	0.028	
安芸・津衛生センター（安濃町妙法寺地内）	0.0063	0.0092	0.0075	0.0053	0.0058	
第４加圧ポンプ場（安濃町今徳地内）	0.0084	0.0056	0.0059	0.0051	0.0045	
香良洲総合支所	0.0074	0.0086	0.0057	0.0075	0.0051	
白山保健福祉センター	0.0063	0.0079	0.0082	0.0046	0.0047	
一志総合支所	0.0088	0.0062	0.0060	0.0058	0.0051	
芸濃総合支所	0.0063	0.010	0.0051	0.0054	0.0055	
美里総合支所	0.0076	0.011	0.0050	0.0037	0.0034	
美杉総合支所	0.0051	0.0043	0.0044	0.0032	0.0027	
年平均値	0.0071	0.0078	0.0063	0.0050	0.0069	

ダイオキシン類（大気環境）測定データ　（令和3年度）（単位：pg-TEQ/m^3）

測定場所	令和３年度 年平均値	環境基準
長谷山市民館	0.0048	0.6 以下
榊原上教育集会所	0.0032	
上野小学校	0.0044	
安芸・津衛生センター（安濃町妙法寺地内）	0.0038	
第４加圧ポンプ場（安濃町今徳地内）	0.0043	
香良洲総合支所	0.0045	
白山保健福祉センター	0.0033	
一志総合支所	0.0030	
芸濃総合支所	0.0036	
美里総合支所	0.0028	
美杉総合支所	0.0026	
年平均値	0.0037	

ダイオキシン類（水質環境）測定データ　（平成 28 年度～令和2年度）（単位：pg-TEQ/L）

測定地点	平成 28 年度 年平均値	平成 29 年度 年平均値	平成 30 年度 年平均値	令和元年度 年平均値	令和２年度 年平均値	環境基準
殿村用水（分部と安濃町の境界地点）	0.47	0.39	0.091	0.20	0.52	１以下
御供田池	0.26	0.19	0.68	0.28	0.73	
蛇川（西浦橋）	0.25	0.67	0.070	0.11	0.10	
榊原川（別所橋）	0.040	0.064	0.032	0.064	0.066	
谷杣川（朝日橋）	0.28	0.53	0.049	0.15	0.11	
中ノ川（中ノ川橋）	0.54	0.41	0.063	0.12	0.20	
田中川（新三行橋）	0.51	0.62	0.66	0.18	0.20	
田中川（汐見橋）	1.2	1.1	0.74	0.83	ー（※）	
年平均値	0.45	0.50	0.30	0.24	0.28	

（※）浚渫工事等の影響により中止

ダイオキシン類（水質環境）測定データ　（令和3年度）（単位：pg-TEQ/L）

測定地点	令和３年度 年平均値	環境基準
殿村用水（分部と安濃町の境界地点）	0.51	１以下
御供田池	0.52	
蛇川（西浦橋）	0.21	
榊原川（別所橋）	0.075	
谷杣川（朝日橋）	0.28	
中ノ川（中ノ川橋）	0.22	
田中川（新三行橋）	0.26	
田中川（汐見橋）	1.5	
年平均値	0.45	

ダイオキシン類（土壌環境）測定データ　（平成 28 年度～令和2年度）（単位：pg-TEQ/g）

測定地点	平成 28 年度 年平均値	平成 29 年度 年平均値	平成 30 年度 年平均値	令和元年度 年平均値	令和２年度 年平均値	環境基準
榊原上教育集会所	0.24	0.29	0.12	0.21	0.071	1,000 以下
ピュアタウン団地内公園	3.2	2.1	3.7	4.8	5.2	
年平均値	1.7	1.2	1.9	2.5	2.6	

ダイオキシン類（土壌環境）測定データ　（令和3年度）（単位：pg-TEQ/g）

測定地点	令和３年度 年平均値	環境基準
榊原上教育集会所	0.092	1,000 以下
ピュアタウン団地内公園	4.5	
年平均値	2.3	

工場排水水質分析・農薬等分析・悪臭物質分析の実施状況

協定に基づく事業所への立ち入り調査の実施状況

	工場排水分析		農薬等分析		悪臭物質分析	
	対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数	対象事業者数	調査回数
平成 20 年度	25	1～2	11	2	4	1～2
平成 21 年度	32	1～2	11	2	4	1～2
平成 22 年度	33	1～2	10	2	4	1～2
平成 23 年度	34	1～2	9	2	4	1～2
平成 24 年度	34	1～2	9	1～2	4	1～2
平成 25 年度	34	1～2	9	1～2	4	1～2
平成 26 年度	34	1～2	8	1～2	4	1～2
平成 27 年度	33	1～2	8	1～2	4	1～2
平成 28 年度	35	1～2	6	2	4	1～2
平成 29 年度	34	1～2	6	2	4	1～2
平成 30 年度	32	1～2	6	2	4	1～2
令和元年度	32	1～2	6	2	4	1～2
令和２年度	29	1～2	6	2	4	1～2
令和３年度	30	1～2	6	2	4	1～2

そ族昆虫駆除支援の状況

ハチ駆除用防護服の貸出実績

年　度	貸出件数	年　度	貸出件数
平成 20 年度	193	平成 27 年度	137
平成 21 年度	198	平成 28 年度	210
平成 22 年度	123	平成 29 年度	208
平成 23 年度	117	平成 30 年度	117
平成 24 年度	149	令和元年度	133
平成 25 年度	180	令和２年度	129
平成 26 年度	145	令和３年度	143

○ 生活排水対策

生活排水処理アクションプログラムによる取組実績

年　度	内　　容
平成 20 年度	策定準備を進めました
平成 21 年度	生活排水処理所管部署により策定事業を進めました
平成 22 年度	見直し案を策定し各地域の自治会役員等に説明を行いました
平成 23 年度	生活排水処理アクションプログラムを策定し、津市生活排水対策推進会議を経て、県へ報告しました。
平成 24 年度	県の生活排水処理アクションプログラムの公表を受け、公共下水道の計画区域から外れた地域内の団地の集中浄化槽について、聞き取り調査を実施する等、市への移管を目指した取り組みを進めました。
平成 25 年度	公共下水道計画区域外の地域における浄化槽整備について、行政が主体となって浄化槽を設置し維持管理を行う市町村設置型浄化槽の整備を基本とした生活排水対策事業（以下「市営浄化槽事業」という。）の概要を取りまとめました。また、同地域における団地の共同汚水処理施設の市への帰属について、対象団地の機能診断調査を実施し、その調査結果を基に、帰属に係る事業の概要を取りまとめました。
平成 26 年度	公共下水道計画区域外における浄化槽整備について、平成２７年度より市営浄化槽事業を開始するため、関係自治会へ説明会を行うとともに、市営浄化槽条例を制定しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 27 年度	公共下水道計画区域外における浄化槽整備について、平成２７年度から市営浄化槽事業を開始しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 28 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
平成 29 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進め、順次帰属を受けました。
平成 30 年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進め、順次帰属を受けました。

令和元年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進しました。また、共同汚水処理施設の市への帰属に向け、各管理組合との協議を進めてきました。
令和２年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進するとともに生活排水処理アクションプログラムの見直しを行い、下水道計画区域から市営浄化槽区域へ転換する区域の素案を作成しました。
令和３年度	市営浄化槽事業により浄化槽整備を推進するとともに、昨年度実施した生活排水処理アクションプログラムの見直しを基に、下水道全体計画区域の見直しについて三重県と協議を実施しました。

浄化槽設置整備事業補助金交付事業

津市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づく交付実績

年　度	区　分	件　数	金額　（円）
平成 20 年度	５人槽	197	69,289,000
	７人槽	177	74,618,000
	10 人槽	10	5,480,000
	合　　計	384	149,387,000
平成 21 年度	５人槽	190	67,705,000
	７人槽	134	58,424,000
	10 人槽	7	3,836,000
	合　　計	331	129,965,000
平成 22 年度	５人槽	231	81,132,000
	７人槽	151	63,586,000
	10 人槽	11	6,028,000
	合　　計	393	150,746,000
平成 23 年度	５人槽	182	64,300,000
	７人槽	144	59,783,000
	10 人槽	8	4,880,000
	合　　計	334	128,963,000
平成 24 年度	５人槽	179	62,080,000
	７人槽	109	45,794,000
	10 人槽	3	1,644,000
	合　　計	291	109,518,000
平成 25 年度	５人槽	188	46,808,000
	７人槽	126	40,826,000
	10 人槽	9	3,836,000
	計	323	91,470,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　33	2,970,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 151	9,060,000
	計	再掲 184	12,030,000
	合　　計		103,500,000
平成 26 年度	５人槽	184	37,188,000
	７人槽	119	33,998,000
	10 人槽	4	1,782,000
	計	307	72,968,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　36	3,240,000
	転換に伴う配管費補助	再掲 139	8,340,000
	計	再掲 175	11,580,000
	合計		84,548,000

平成 27 年度	５人槽	110	16,928,000
	７人槽	70	15,607,000
	10 人槽	5	1,920,000
	計	185	34,455,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　26	2,340,000
	転換に伴う配管費補助	再掲　61	3,660,000
	計	再掲　87	6,000,000
	合　　計		40,455,000
平成 28 年度	５人槽	92	13,680,000
	７人槽	49	12,511,000
	10 人槽	5	1,510,000
	計	146	27,701,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　19	1,710,000
	転換に伴う配管費補助	再掲　50	3,000,000
	計	再掲　69	4,710,000
	合　　計		32,411,000
平成 29 年度	５人槽	82	11,600,000
	７人槽	40	8,474,000
	10 人槽	1	548,000
	計	123	20,622,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　20	1,800,000
	転換に伴う配管費補助	再掲　34	2,040,000
	計	再掲　54	3,840,000
	合　　計		24,462,000
平成 30 年度	５人槽	69	11,004,000
	７人槽	22	5,065,000
	10 人槽	1	548,000
	計	92	16,617,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　14	1,260,000
	転換に伴う配管費補助	再掲　31	1,860,000
	計	再掲　45	3,120,000
	合　　計		19,737,000

令和元年度	５人槽	62	8,184,000
	７人槽	24	4,649,000
	10 人槽	1	548,000
	計	87	13,381,000
	単独浄化槽撤去費補助	再掲　10	900,000
	転換に伴う配管費補助	再掲　20	1,200,000
	計	再掲　30	2,100,000
	合　　計		15,481,000
令和２年度	５人槽	56	7,484,000
	７人槽	17	4,274,000
	10 人槽	0	0
	計	73	11,758,000
	単独浄化槽撤去費補助	6	540,000
	転換に伴う配管費補助	22	1,320,000
	計	28	1,860,000
	合　　計		13,618,000
令和３年度	５人槽	47	5,684,000
	７人槽	23	4,235,000
	10 人槽	0	0
	計	70	9,919,000
	単独浄化槽撤去費補助	5	450,000
	転換に伴う配管費補助	13	780,000
	計	18	1,230,000
	合　　計		11,149,000

共同汚水処理施設修繕工事補助金交付事業

津市共同汚水処理施設修繕工事補助金交付要綱に基づく交付実績

年　度	件　数	金額（円）
平成 20 年度	5	5,595,000
平成 21 年度	10	9,757,000
平成 22 年度	9	11,690,000
平成 23 年度	15	20,422,000
平成 24 年度	13	18,626,000
平成 25 年度	8	9,386,000
平成 26 年度	15	18,152,000
平成 27 年度	17	36,250,000
平成 28 年度	7	12,825,000
平成 29 年度	6	13,402,000
平成 30 年度	1	1,750,000
令和元年度	4	8,752,000
令和２年度	5	7,656,000
令和３年度	4	7,997,000

⑵　やすらぎを感じる生活空間の形成

○　緑の保全・創出と水辺環境の保全

津市緑化基金を活用した記念樹配布等実績

年　度	事　業　名		件　数
平成 20 年度	新築家屋記念樹配付事業		249
	生け垣緑化用苗木配付事業		29
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	464
		出生	1,180
	緑化・美化運動事業		77
平成 21 年度	新築家屋記念樹配付事業		216
	生け垣緑化用苗木配付事業		55
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	357
		出生	979
	緑化・美化運動事業		87
平成 22 年度	新築家屋記念樹配付事業		159
	生け垣緑化用苗木配付事業		47
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	530
		出生	1,094
	緑化・美化運動事業		102
平成 23 年度	新築家屋記念樹配付事業		224
	生け垣緑化用苗木配付事業		36
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	48
		出生	188
	緑化・美化運動事業		127
平成 24 年度	新築家屋記念樹配付事業		206
	生け垣緑化用苗木配付事業		20
	結婚・出生記念樹配付事業	結婚	58
		出生	213
	緑化・美化運動事業		150
平成 25 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		29
	記念樹配布事業	新築	170
		結婚	73
		出生	220
		還暦	120
	緑化・美化運動事業		153

平成 26 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		26
	記念樹配布事業	新築	199
		結婚	89
		出生	466
		還暦	198
	緑化・美化運動事業		159
平成 27 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		29
	記念樹配布事業	新築	165
		結婚	77
		出生	477
		還暦	118
	緑化・美化運動事業		212
平成 28 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		23
	記念樹配布事業	新築	144
		結婚	120
		出生	434
		還暦	162
	緑化・美化運動事業		234
平成 29 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		13
	記念樹配布事業	新築	165
		結婚	126
		出生	464
		還暦	153
	緑化・美化運動事業		225
平成 30 年度	生け垣緑化用苗木配布事業		25
	記念樹配布事業	新築	132
		結婚	137
		出生	390
		還暦	93
	緑化・美化運動事業		289
令和元年度	生け垣緑化用苗木配布事業		13
	記念樹配布事業	新築	157
		結婚	108
		出生	388
		還暦	181
	緑化・美化運動事業		304

令和２年度	生け垣緑化用苗木配布事業		11
	記念樹配布事業	新築	70
		結婚	61
		出生	161
		還暦	47
	緑化・美化運動事業		301
令和３年度	生け垣緑化用苗木配布事業		14
	記念樹配布事業	新築	120
		結婚	130
		出生	322
		還暦	137
	緑化・美化運動事業		299

○　良好な景観の保全

景観法に基づく届出件数

年　度	件数
平成 26 年度（7 月 1 日以降）	56
平成 27 年度	75
平成 28 年度	88
平成 29 年度	136
平成 30 年度	110
令和元年度	143
令和２年度	105
令和３年度	117

デザインや色彩に関する助言を行った件数

年　度	件　数	
	※デザイン委員会	※景観アドバイザー
平成 20 年度	1	
平成 21 年度	4	
平成 22 年度	4	
平成 23 年度	3	
平成 24 年度	1	
平成 25 年度	5	
平成 26 年度	0	4
平成 27 年度	廃止	0
平成 28 年度		5
平成 29 年度		6
平成 30 年度		4
令和元年度		1
令和２年度		1
令和３年度		1

※市長が委嘱した専門家による公共施設や民間建築物に対する景観に関する助言及び相談を行う。

平成 26 年 6 月 30 日まではデザイン委員会、平成 26 年 7 月 1 日からは景観アドバイザーが助言を行う。

三重県屋外広告物条例による屋外広告物許可申請件数

年　度	区　　分					
	はり紙・立看板	広告板・広告塔	広告旗	電柱等広告	横断幕・アドバルン	その他
平成 20 年度	78	2,238	59	7,576	48	610
平成 21 年度	57	2,128	20	7,912	6	756
平成 22 年度	18	2,343	20	7,173	8	671
平成 23 年度	17	2,092	17	6,167	20	765
平成 24 年度	11	2,102	0	5,611	8	760
平成 25 年度	11	1954	0	5,935	4	531
平成 26 年度	9	1,758	0	5,327	8	836
平成 27 年度	9	2,337	0	5,152	29	284
平成 28 年度	9	2,302	0	4,888	7	5
平成 29 年度	6	1,468	20	5,197	4	1,158
平成 30 年度	11	1,579	61	5,120	6	930
令和元年度	6	1,889	182	4,831	4	146
令和２年度	23	2,511	20	4,779	6	0
令和３年度	2	1,426	24	4,555	6	774

市民の環境意識の向上

○　環境に対する市民意識の向上

つ・環境フェスタ開催実績

年　度	開催日	場　所	出展者	来場者数（人）
平成 20 年度	12 月 7 日	津市モーターボート競走場	108 団体	約 4,500
平成 21 年度	12 月 6 日	津市モーターボート競走場	101 団体	約 5,500
平成 22 年度	1 月 16 日	津市モーターボート競走場	87 団体	約 4,500
平成 23 年度	11 月 6 日	津市モーターボート競走場	75 団体	約 5,500
平成 24 年度	11 月 18 日	津市モーターボート競走場	70 団体	約 4,500
平成 25 年度	11 月 2 日	津市モーターボート競走場	75 団体	約 4,000
平成 26 年度	1 月 25 日	津市モーターボート競走場	83 団体	約 5,500
平成 27 年度	11 月 23 日	メッセウイング・みえ	96 団体	約 6,000
平成 28 年度	11 月 27 日	メッセウイング・みえ	85 団体	約 5,500
平成 29 年度	11 月 26 日	メッセウイング・みえ	83 団体	約 6,500
平成 30 年度	11 月 24 日	メッセウイング・みえ	107 団体	約 6,500
令和元年度	11 月 4 日	メッセウイング・みえ	103 団体	約 6,500
令和２年度	12 月 16 日 ～2 月 17 日	市内全域（津市環境学習センター、道の駅津かわげ等）	32 団体	スタンプラリー 170 人 映像総視聴回数 1,068 回
令和３年度	開催せず	－	－	－

市民清掃デー参加者実績

年　度	参加者数（人）
平成 20 年度	約 54,000
平成 21 年度	約 53,000
平成 22 年度	約 60,000
平成 23 年度	約 55,000
平成 24 年度	約 58,000
平成 25 年度	約 60,000
平成 26 年度	約 67,000
平成 27 年度	約 66,000
平成 28 年度	約 69,000
平成 29 年度	約 69,000
平成 30 年度	約 71,000
令和元年度	約 71,000
令和２年度	約 27,000
令和３年度	約 5,900

環境だより発行状況（令和３年度発行実績）

発行日	掲　載　内　容
4 月 1 日	地球温暖化対策に取り組みましょう 市営墓園の使用者を募集
6 月 1 日	生ごみは水切りをしよう 生ごみ処理機などの購入費用補助 チュニック講習会（全 3 回） ごみ出しルールを守って正しい分別を！ ダメ！絶対！不法投棄 大型家具などのごみ出しでお困りの人へ 犬の登録と狂犬病予防注射
7 月 1 日	省エネに取り組んで CO2 を削減しよう 新エネルギー利用設備設置費補助金　CO2 削減効果 エコドライブに取り組みませんか 知っていますか？ごみの分別の意味 家電 4 品目の適正な処理方法 危険ごみは品目別に分けて出してください！ リサイクル資源回収活動を支援しています！ 空き家の早期利活用のススメ 空き地を所有している人へ
7 月 1（号外）（市内小学校へ配布）	親子で学ぶ環境イベント参加者募集（新エネルギー学習会（1 日コース）、水生生物調査学習会、夏休み子どもごみ教室、新エネルギー学習会（半日コース）、田中川干潟生き物観察会、白塚海岸の清掃と作品作り、夏休み親子昆虫観察会） 環境学習センターに遊びに行こう！
12 月 1 日	家庭ごみの年末特別収集 年末年始のごみの搬入 ごみ収集車の火災事故防止にご協力を！ 知っていますか？燃やせるごみのリサイクル 防ごう！なくそう！ごみの不法投棄 自然の物を生かしたクリスマス工作会 空き家対策は予防・管理・利活用！ 年末年始のし尿のくみ取りはお早めに

3 月 16 日	大量に出る引っ越しごみは各施設へ自己搬入を 津市で収集しないもの このごみはどうやって処理するの？ 家電 4 品目の処分方法 生ごみは水切りをしよう 生ごみ処理機などの購入費用補助 古着で作る巾着袋講習会 ストップ！不法投棄 リサイクル資源の回収活動をしませんか？

こどもエコクラブ事業

こどもエコクラブ登録状況

年　度	登録団体数	会員数 （人）	サポーター数 （人）
平成 20 年度	25	385	59
平成 21 年度	6	78	14
平成 22 年度	7	117	17
平成 23 年度	8	129	20
平成 24 年度	3	11	6
平成 25 年度	6	28	15
平成 26 年度	7	20	12
平成 27 年度	8	36	14
平成 28 年度	5	37	13
平成 29 年度	6	22	12
平成 30 年度	6	26	13
令和元年度	8	28	16
令和２年度	8	21	16
令和３年度	9	18	17

○　環境学習センターでの取組

講習会開催実績

年　度	内　　容	実施回数（回）	参加人数（人）
平成 20 年度	布ぞうり講習会	27	78
平成 21 年度	布ぞうり講習会	19	77
平成 22 年度	布ぞうり・布花作り講習会等	14	175
平成 23 年度	布ぞうり講習会等	16	113
平成 24 年度	布ぞうり講習会等	21	182
平成 25 年度	布ぞうり講習会等	16	148
平成 26 年度	布ぞうり講習会､簡単リメイクソーイング教室等	45	326
平成 27 年度	布ぞうり講習会､簡単リメイクソーイング教室等	56	420
平成 28 年度	布ぞうり講習会、かぼちゃバッグ教室、親子竹細工教室、帯バック教室	32	255
平成 29 年度	布ぞうり講習会、アップリケバッグ教室、猫はんてん教室、シイタケ菌打ち体験	26	291
平成 30 年度	野鳥観察会＆鳥の巣箱作り、布ぞうり講習会、手帳カバー教室、猫はんてん教室、シイタケ菌打ち体験	21	249
令和元年度	布ぞうり講習会、巾着袋教室等	17	217
令和２年度	アサギマダラ観察会等	10	129
令和３年度	布ぞうり講習会、エコバッグ講習会等	26	266

講演会・イベント等開催実績

年　度	内　　容	実施回数（回）	参加人数（人）
平成 20 年度	ドイツに学ぶエコライフ講演会	1	48
平成 21 年度	ごみ処理施設見学会	2	31
平成 22 年度	親子環境教室、ごみ処理施設見学会、えこえこバザール等	4	350
平成 23 年度	ごみ処理施設見学会、えこえこバザール等	7	352
平成 24 年度	ごみ処理施設見学会、里山ウォーク等	4	437
平成 25 年度	ごみ処理施設見学会、竹林クリーンアップ、えこえこバザール等	8	470
平成 26 年度	ごみ処理施設見学会、秋の森散策会、えこえこバザール等	3	405
平成 27 年度	ごみのゆくえ探検、えこえこバザール	2	470
平成 28 年度	リサイクルセンターの見学会	61	1,945
平成 29 年度	リサイクルセンターの見学会	59	1,788
平成 30 年度	リサイクルセンターの見学会	47	1,746
令和元年度	リサイクルセンターの見学会	44	1,724
令和２年度	リサイクルセンターの見学会	24	942
令和３年度	リサイクルセンターの見学会	47	1,561

工房利用実績

年　度	利用場所	実施回数（回）	利用人数（人）
平成 28 年度	工房 A、B	96	615
平成 29 年度	工房 A、B	134	692
平成 30 年度	工房 A、B	120	666
令和元年度	工房 A、B	115	698
令和２年度	工房 A、B	77	353
令和３年度	工房 A、B	74	369

施設利用者数実績

年　度	施設利用者数（人）	
平成 20 年度	492	
平成 21 年度	726	
平成 22 年度	1,025	
平成 23 年度	943	
平成 24 年度	1,271	
平成 25 年度	1,250	
平成 26 年度	1,724	
平成 27 年度	1,795	
平成 28 年度	3,122	（一般見学者 307 人含む）
平成 29 年度	4,033	（一般見学者 227 人含む）
平成 30 年度	4,734	（一般見学者 122 人含む）
令和元年度	3,136	（一般見学者 118 人含む）
令和２年度	1,808	（一般見学者 211 人含む）
令和３年度	2,608	（一般見学者 186 人含む）